



ergobaby™



スリーシックスティ

エルゴベビー
360ベビーキャリア/インファント インサートⅡ
取扱説明書

ご使用前に、必ずこの取扱説明書、併せて「INSTRUCTION MANUAL」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

はじめに

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前に、同梱の「INSTRUCTION MANUAL」と、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、必要なときにすぐに取り出せる場所に保管してください。

この取扱説明書の対象となる製品

エルゴベビー・360ベビーキャリア
以後、ベビーキャリアと表記します。

エルゴベビー・インファント インサートⅡ
以後、インファント インサートと表記します。

もくじ

お使いいただく前に

成長に合わせた快適使い方ガイド	3
安全上のご注意	4
各部の名称	23
同梱品を確認する	26
調整する・装着する	27

新生児対面抱き・対面抱き

新生児対面抱きと対面抱き	33
インファント インサートⅡを使う	35
抱く	41
チェックと調整	51
フードを使う	55
授乳する	56
降ろす	57

前向き抱き

抱く	59
チェックと調整	67
降ろす	71

腰抱き

抱く	73
チェックと調整	81
降ろす	85

おんぶ

抱く	87
チェックと調整	97
フードを使う	101
降ろす	102

よくあるご質問

よくあるご質問	107
---------	-----

点検とお手入れ

各部のお手入れ	109
点検	110
保管と廃棄	111
修理を依頼する	112
品質規定	113

成長に合わせた快適使い方ガイド

		0カ月	4カ月							
成長の目安	新生児									
体重の目安	3.2kg	5.5kg								
	新生児 対面抱き	ベビーキャリア + インファント インサート								→ P.33
		4カ月	5カ月	6カ月	12カ月	24カ月	36カ月			
成長の目安	首がすわったら	腰がすわったら								
体重の目安	5.5kg	6.4kg	7.8kg	10kg	12.2kg	15kg				
	対面抱き	ベビーキャリア単体 ・首が完全にすわっている ・4カ月以上 ・体重 5.5kg 以上 ・両膝がベビーキャリアから出る								→ P.33
	前向き抱き	ベビーキャリア 単体								→ P.59
	腰抱き	ベビーキャリア単体 ・腰が完全にすわっている								→ P.73
	おんぶ	ベビーキャリア単体								→ P.87

※ベビーキャリアを快適にご使用いただくために乳幼児の一般的な月齢、体重、発達段階をもとに作成されたガイドです。

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本取扱説明書をお読みになった後は、必要なときにすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- 本製品を第三者に譲渡する場合は、取扱説明書も一緒に譲渡してください。

本取扱説明書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を、危険の大きさの程度に応じて、次のように分類して表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

注意事項を守らないと「**死亡や重傷を負うおそれがある内容**」です。

注意

注意事項を守らないと「**軽傷を負うおそれがある内容**」です。

ベビーキャリア、インファント インサート共通

一般的な注意事項

警告

- 使用前に、取扱説明書をよくお読みいただき、内容を理解したうえで、正しくお使いください。
- 使用前に、必ず着用の練習をした上で使用してください。
- 使用、取扱いは、適切な状況判断ができる大人が行ってください。
- お子さまをベビーキャリアに乗せる前に、予め各部のバックルを留め、ストラップの長さをご自分の体に合せて調整してください。
お子さまが落下し、ケガをするおそれがあります。
- 「前向き抱き」のときに、バックパネルがお子さまの顔、首にかからないように十分に空間をとってください。
お子さまが窒息するおそれがあります。
- ベビーキャリアや、インファント インサート、箱等で、お子さまをあそばせないでください。おもちゃではありません。
- 本製品をお子さまの近くに放置しないでください。

- 2人以上のお子さまを乗せないでください。
- 炎天下では使用しないでください。
お子さまが熱中症等になるおそれがあります。
- 本製品を火気に近づけないでください。
- 部品、アクセサリは、ベビーキャリア、インファント インサート専用に設計されたもの以外は使用しないでください。

注意

- 本製品を長時間使用しないでください。
- 2時間以下を目安に使用してください。
お子さまが体調を崩すおそれがあります。
- お子さまと一緒におもちゃなどを乗せないでください。
お子さまが圧迫されてケガをするおそれがあります。
- 着用者は、ご自身の健康状態や体力を確認のうえ、本製品を使用してください。使用中にお子さまの荷重によって、着用者がバランスを崩すような場合は、使用しないでください。
- 健康状態や体力には個人差がありますが、一般的には健康な状態で荷物を背負える重量は、体重の20%までとされています。ご使用者は健康状態や体力を改めてご確認のうえ、ベビーキャリアを安全且つ快適にご使用ください。

点検・整備に関する注意事項

警告

- 使用前に、本製品を点検・確認してください。
- ウエストストラップのバックル、肩ストラップのバックル、胸ストラップのバックルが確実に留められることを確認してから使用してください。
- 破損等がみられるバックルがある場合は、使用しないでください。
- ストラップや生地が破れ、ほつれ、キズがある場合は、使用しないでください。
- 摩耗により、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップが使用中に自然に緩んでくるようになった場合は、使用しないでください。
- 異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。
使用中にバックルが外れる、生地が破れるなどして、すき間からお子さまが落下するおそれがあります。
- 有機溶剤、酸・アルカリ、熱湯等で洗浄しないでください。
製品が劣化し、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- ストラップの先端の返し縫い部をほどこいたり、切り落とした後に使用しないでください。
お子さまが落下し、ケガをするおそれがあります。

- 改造や、不当な修理はしないでください。
- 修理は、日本正規総代理店 株式会社ダッドウェイにお問い合わせください。

注意

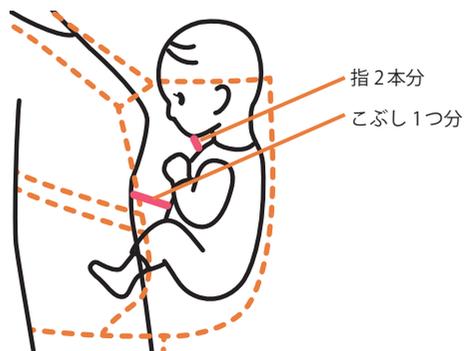
- 他の洗濯物と一緒に洗わないでください。
色移りするおそれがあります。

使用時の注意事項

警告

- 使用中は、次のようなことをしないでください。
 - 走る、飛び跳ねるなど
 - スポーツ
 - 飛行機、自動車、タクシー、バイク、自転車等に乗る、運転する
 - 料理する、食事するなど
- 使用中は、常にお子さまの様子に注意してください。
- 異常が見られたときには、すぐに使用を中止してください。
特に「背負い(おんぶ)」の場合は目が届きにくいので注意してください。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

- 気道をふさいでしまう危険性があるため、乳幼児の顎と胸が着く姿勢にならない様に注意してください。乳幼児の顎の下と胸の間には最低でも指2本分の間隔が必要です。
- 気道をふさいでしまう危険性があるため、乳幼児の腹部と着用者の間にごぶし1つ分の間隔をとるように、肩ストラップの長さを調整してください。



- 窒息の危険性が最も高いのは早産児、呼吸器官に問題のある新生児、生後4カ月未満の新生児です。
- 着用者が、次のようなときは、使用しないでください。
 - 飲酒・投薬時
 - 平衡感覚に問題があるとき
 - 運動に問題があるとき

- 乳幼児がベビーキャリアの中で正しい場所に位置していることを確認してください。ベビーキャリア中央にすわり姿勢で両脚が開口部から左右均等に出ていること、頭部が前や左右に倒れずに、真っ直ぐになっていることに注意して使用してください。

保管に関する注意事項

警告

- お子さまの手の届く場所に保管しないでください。
- 高温多湿な環境をさけて保管してください。
カビが生えてお子さまの健康を害したり、製品が劣化して思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 屋外に放置したり、濡れたまま放置しないでください。
- 直射日光のあたる場所に保管しないでください。
変色や劣化が早まります。

ベビーキャリア

使用条件

警告

【年齢】

- お子さまが、新生児から4カ月未満の場合は、必ずインファント インサートを使用してください。

【体重】

- ベビーキャリア単体で使用する場合は、5.5kg未満のお子さまを乗せないでください。
- ベビーキャリアには、15kg以上のお子さまを乗せないでください。

【首すわり】

- 首が完全にすわるまでは、必ずインファント インサートを使用してください。

【すわり姿勢】

- お子さまの両膝がベビーキャリアから出て、着用者の胴回りをまたぐ自然な開脚ができるまでは、インファント インサートを使用してください。

一般的な注意事項

警告

- 本製品は、乳幼児をだっこやおんぶするためのベビーキャリアです。荷物を運ぶなど他の用途に使用しないでください。
- フード付きの服で「背負い（おんぶ）」する場合は、服のフードがお子さまの顔にかからないよう注意してください。
窒息するおそれがあります。
- 首が完全にすわるまでは、「対面抱き」「前向き抱き」「腰抱き」「背負い（おんぶ）」をしないでください。
- 腰がすわるまでは、「腰抱き」をしないでください。
- 「対面抱き」に慣れてから、「前向き抱き」「腰抱き」「背負い（おんぶ）」をお試しください。

⚠ 注意

- 外したバックルの開口部にお子さまの手指が入らないように注意してください。
- 本製品を使用しない際も、バックルが開口していないよう、凹凸を確実に差し込んでお子さまの手の届かない所に保管してください。
手指にケガをしたり、すきまに指が入って抜けなくなるおそれがあります。

使用前の注意事項

⚠ 警告

- ウエストバンド、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップは正しく調整して使用してください。
お子さまがすき間から落下する、ももが擦れるなど、ケガをするおそれがあります。
- 抱き方の練習をする際は、他の方に手伝っていただきながら行ってください。

使用時の注意事項

⚠ 警告

- 安全用ゴムループを必ず使用してください。
安全用ゴムループを使用しないと、バックルが破損等により外れた場合に、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。
- 「新生児対面抱き」「対面抱き」「前向き抱き」で使用する際は、お子さまの頭で着用者の前方、特に足下の視界が妨げられるおそれがあります。歩行時は注意してください。
- 生後4カ月、または首が完全にすわるまでは、お子さまを着用者の体に密着させるような抱き方をしないでください。
- お子さまの顔のまわりに十分な空間があり、頭部が動くくらいに調整してください。
お子さまが窒息するおそれがあります。
- 使用中は、大きく前に屈まない(約45°を超えて)でください。
- 使用中に屈む際には、必ずひざを曲げてください。
とくに「背負い(おんぶ)」の場合には注意してください。
お子さまが滑り落ちてケガをするおそれがあります。

● 授乳後 30分は、本製品を使用しないでください。

本製品の使用により、おなかを圧迫し、お子さまが嘔吐により窒息するおそれがあります。授乳後は必ずベビーキャリアをはずしてください。

● 授乳は立ったまま行わず、安全な場所に座った状態で行ってください。

● フードを使用しないときは、フードポケットに収納してください。

フードがお子さまの顔にかかると、窒息するおそれがあります。

● フードを使用する際は、フードストラップを正しく調整して使用してください。

フードストラップを使わないとフードがお子さまの顔にかかって窒息したり、フードストラップがひっかかり着用者が転倒するなどのおそれがあります。

● 「前向き抱き」では、フードを使用しないでください。

お子さまが窒息するおそれがあります。

● 「腰抱き」では、フードを使用しないでください。

フードストラップが固定できずに、フードがお子さまの顔にかかり窒息したり、フードストラップがひっかかり着用者が転倒するなどのおそれがあります。

● お子さまを乗せたまま抱き方を変更しないでください。

お子さまが落下するおそれがあります。

● バックルを留める際に、着用者の衣服などをはさまないように注意してください。

バックルが正しく留められずに、使用中に外れて、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。

● ウエストバンドは、お子さまを降ろしてから最後に外してください。

● 取扱説明書に記載されている以外の抱き方をしないでください。

とくに次の抱き方はしないでください。

- 「腰抱き」「背負い（おんぶ）」でお子さまが外向き落下、窒息、お子さまの股関節に悪影響が出るなどのおそれがあります。

● ストラップまとめゴムを使用してください。

垂れ下がったストラップがお子さまの首にかかり窒息したり、他の物に引っかかり着用者が転倒するなど、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

● ウエストバンドの着脱テープ、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップのバックルは、正しく留めて使用してください。

お子さまがすき間から落下してケガをするおそれがあります。

● ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップのバックルは、無理に押し込んで使用しないでください。

バックルが破損する原因となります。
バックルが破損すると、固定力が不十分となり、使用中にバックルが外れて、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。

● シートアジャスターは、必ず留めた状態で使用してください。

● お子さまを乗せた状態で、シートアジャスターのボタンを掛け替えないでください。

開口部が広くなり、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

- お子さまを乗せているときは、常にまわりの状況に注意し、お子さまを周りの物にぶつけないよう注意してください。
とくに「背負い(おんぶ)」の場合は目が届きにくいので注意してください。
- ウエストバンド、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップに袋や荷物を引っかけたり、つるしたりしないでください。
着用者がバランスを崩したり、引っかかって転倒するなど思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- ウエストバンドの着脱テープが衣服等に貼り付かないよう注意してください。
- バックルを留める際は、バックルのすきまに、お子さまやご兄弟等が手指をはさまないように注意してください。
手指にケガをするおそれがあります。
- 使用中は、お子さまの位置や姿勢の調整が行えるように、常に両手が見えるようにしておいてください。
- 使用中にお子さまの脚が圧迫されたり、締め付けられないように注意してください。
- お子さまが本製品の中で動くことで、着用者がバランスを崩すおそれがありますので注意してください。

- ご使用中に乳幼児が不快感を示した場合は使用を中止し、様子を見てください。
- お子さまを乗せるときは、必ず安全な場所で行ってください。
- お子さまを乗せるときは、ひざをつくなどの低い姿勢で行ってください。
- 乳幼児を抱く際は周囲に危険な物が無いベッドなど柔らかい場所で、ご使用に慣れるまでは他の方に手伝っていただき着用してください。
- ベビーキャリアの使用方法を十分に理解し、正しく安全に使用できるようになるまでは、使用しないでください。
- お子さまを降ろすときは、ひざをつくなどの低い姿勢で、必ず安全な場所で行ってください。
不安定な場所などで行うと、バランスを崩してお子さまが落下するおそれがあります。

- フードポケットには、とがったものを入れないでください。
- フードポケットには、カイロなどを入れないでください。
お子さまがヤケドを負うおそれがあります。
- 肩や背中、首にケガや痛みなど問題がある場合は、着用しないでください。
- ベビーキャリアを使用していて背中や首、肩に痛みなどの問題が生じた際には直ちに使用を中止して専門医に相談してください。
- 着用中の摩擦、汗等により、衣服に色が移るおそれがありますので注意してください。

インファント インサート

使用条件



警告

以下の条件をすべて満たすまでは、ベビーキャリアにインファント インサートを併せて使用してください。

【年齢】

- お子さまが新生児から4カ月未満の場合は、必ずインファント インサートを使用してください。

【体重】

- インファント インサートは、3.2kg 未満のお子さまには使用しないでください。
- 3.2kg 以上、5.5kg 未満では、必ずインファント インサートを使用してください。

【首すわり】

- 首が完全にすわるまでは、必ずインファント インサートを使用してください。

【すわり姿勢】

- お子さまの両膝がベビーキャリアから出て、着用者の胴回りをまたぐ自然な開脚ができるまでは、インファント インサートを使用してください。

一般的な注意事項

警告

- インファント インサートは、ベビーキャリアで「対面抱き」をする際に、乳幼児を包んでサポートする「新生児対面抱き」用のアクセサリーです。他の用途に使用しないでください。
- インファント インサートは、ベビーキャリア専用アクセサリーです。単独での使用や、他の製品に使用しないでください。

使用時の注意事項

警告

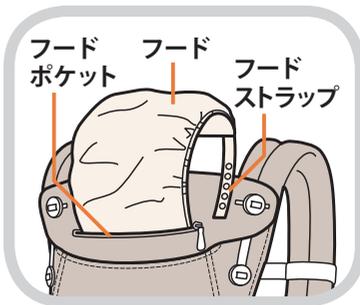
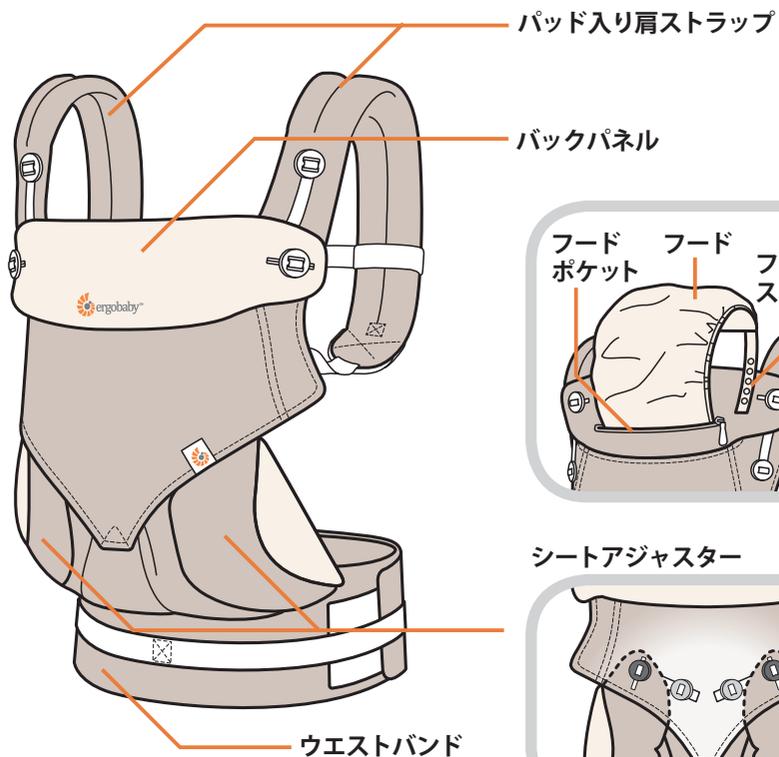
- スワドルストラップを持ってインファント インサートを持ち上げないでください。スナップが外れて、お子さまが落下するおそれがあります。
- スワドルストラップがお子さまの顔にかからないように注意してください。

注意

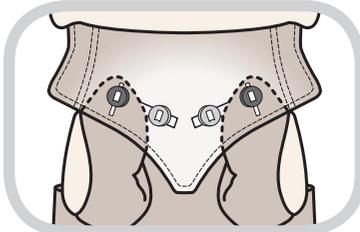
- スワドルストラップは無理に留めないでください。お子さまに負荷がかかるおそれがあります。

各部の名称

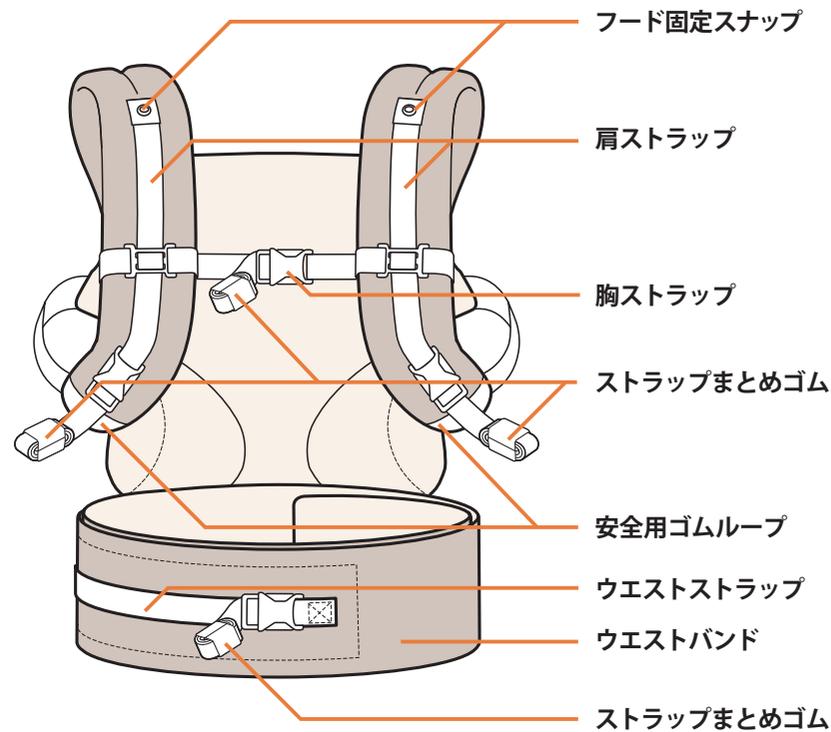
ベビーキャリア本体前面



シートアジャスター



ベビーキャリア本体背面



※製品の外觀や仕様は、予告なく変更することがあります。

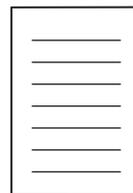
同梱品を確認する

以下の同梱品が揃っていることをご確認ください。
万一、不足や不良がありましたら、お手数ですが、
お買い求めいただいた販売店、または裏表紙に記載
のお客さま相談窓口までご連絡ください。

警告

<一般的な注意事項>

- 部品、アクセサリは、ベビーキャリア、インファント インサート専用
に設計されたもの以外は使用しないで
ください。



保証書



INSTRUCTION
MANUAL

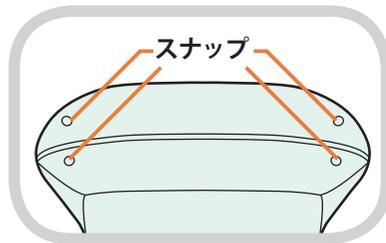


取扱説明書 (本書)



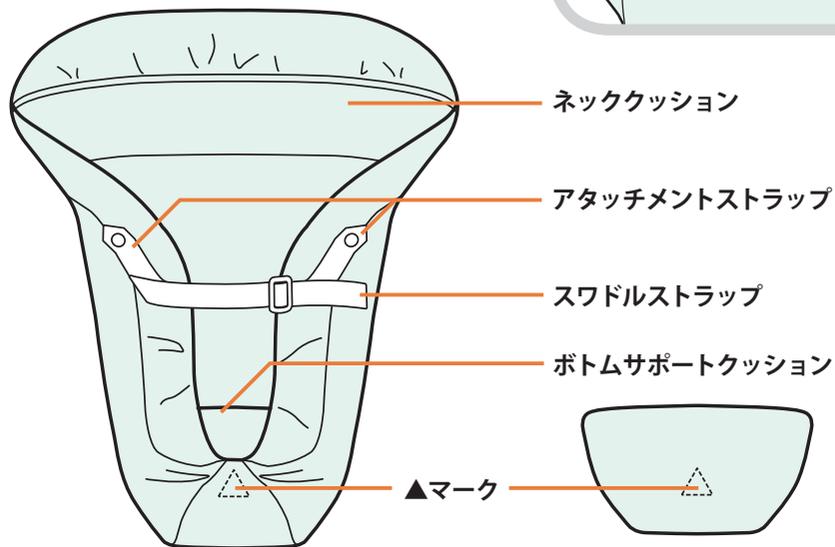
ベビーキャリア

背面



インファント インサートⅡ

※インファントインサートは別売りです。



※製品の外觀や仕様は、予告なく変更することがあります。

調整する・装着する

警告

- 「安全上のご注意」の「点検・整備に関する注意事項」の「警告」(P.7)をあわせてお読みください。

<一般的な注意事項>

- お子さまをベビーキャリアに乗せる前に、予め各部のバックルを留め、ストラップの長さをご自分の体に合せて調整してください。

お子さまが落下し、ケガをするおそれがあります。

<使用前の注意事項>

- ウエストバンド、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップは正しく調整して使用してください。

お子さまがすき間から落下する、ももが擦れるなど、ケガをするおそれがあります。

<使用時の注意事項>

- 安全用ゴムループを必ず使用してください。

安全用ゴムループを使用しないと、バックルが破損等により外れた場合に、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。

- バックルを留める際に、着用者の衣服などをはさまないように注意してください。

バックルが正しく留められずに、使用中に外れて、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。

- ストラップまとめゴム使用してください。

垂れ下がったストラップがお子さまの首にかかり窒息したり、他の物に引っかかり着用者が転倒するなど、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップのバックルは、無理に押し込んで使用しないでください。

バックルが破損する原因となります。バックルが破損すると、固定力が不十分となり、使用中にバックルが外れて、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。

注意

<一般的な注意事項>

- 外したバックルの開口部にお子さまの手指が入らないように注意してください。

手指にケガをしたり、すき間に指が入って抜けなくなるおそれがあります。

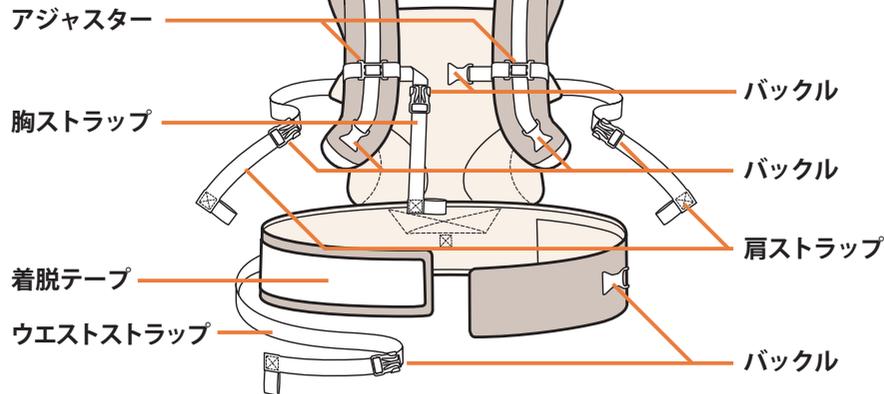
<使用時の注意事項>

- バックルを留める際は、バックルのすきまに、お子さまやご兄弟等が手指をはさまないように注意してください。

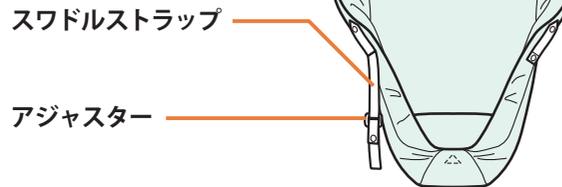
手指にケガをするおそれがあります。

● ストラップとバックルの位置

ベビーキャリア

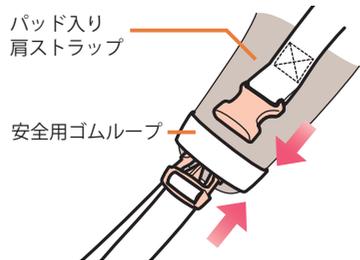


インファント インサート

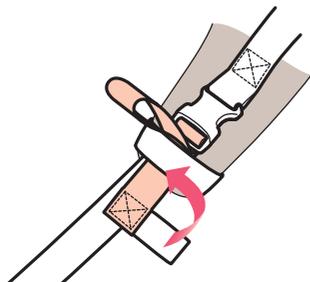


●バックルを留める

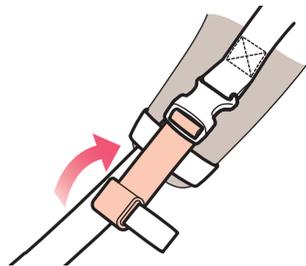
- 1 ストラップを安全用ゴムループに通し、バックルをカチッと音がるまで差しこみます。



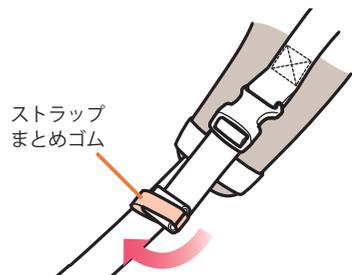
- 2 ストラップのあまりを安全用ゴムループの外に出します。



- 3 ストラップのあまりを丸めます。



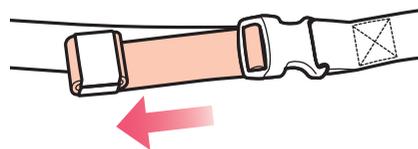
- 4 ストラップのあまりをストラップまとめゴムでまとめます。



●ストラップの長さを調整する

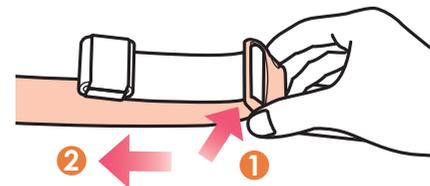
短くする

- 1 図の方向にストラップのあまりを引ききます。



長くする

- 1 バックルまたはアジャスターを起こしてストラップをゆるめ、図の方向にストラップを引きます。

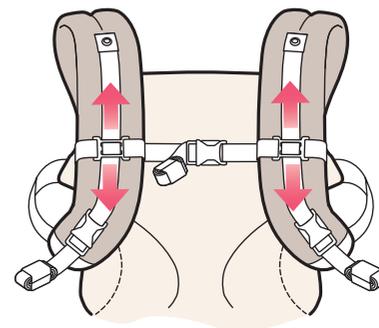


●胸ストラップの位置を調整する

- 1 左右のアジャスターを動かし、胸ストラップの位置を調整します。

POINT

着用時の胸ストラップの位置は、ご自分のわきの下の位置付近にあわせます。



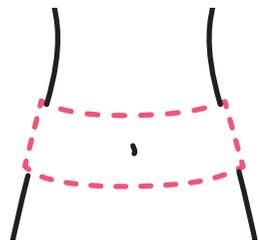
●ウエストバンドを装着する

ウエストバンドの中央が、ご自分のおへそにあたる位置が基準です。身長が高めの方は上に、身長が低めの方は下に装着します。

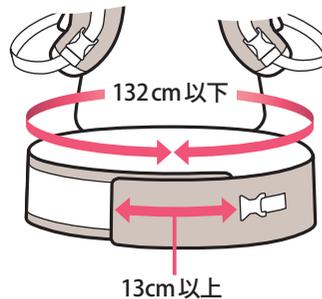
POINT

慣れないうちは、鏡などを利用して確認してください。

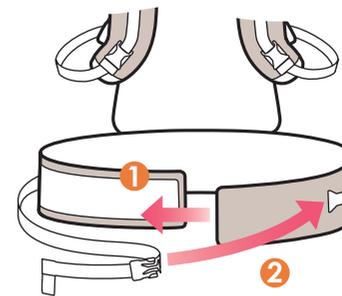
- 身長が高めの方は基準より上に、身長が低めの方は基準より下に装着します。ご自分がまっすぐ立ったとき、ウエストバンドが地面と水平になるように装着します。横向きに鏡の前に立ち、ウエストバンドが地面と水平になっていることを確認します。
- ウエストバンドを基準の位置に装着すると、お子さまの重さで、ウエストバンドの下半分が骨盤の上部にはまるように固定されます。ウエストバンドがウエストラインから骨盤までのカーブにフィットし、お子さまの体重をウエストバンド全体で支えます。



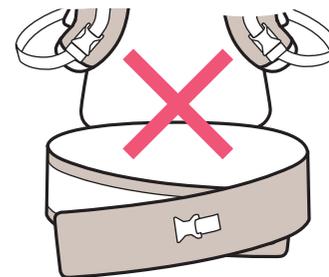
ウエスト回りは 132cm 以下
着脱テープの端を 13cm 以上重ねる



バックルは着脱テープの後に留める



斜めに留めない



新生児対面抱きと対面抱き

警告

<使用条件>

【年齢】

- お子さまが、新生児から4カ月未満の場合は、必ずインファント インサートを使用してください。

【体重】

- インファント インサートは、3.2kg未満のお子さまには使用しないでください。
- 3.2kg以上、5.5kg未満では、必ずインファント インサートを使用してください。
- ベビーキャリア単体で使用する場合は、5.5kg未満のお子さまを乗せないでください。
- ベビーキャリアには、15kg以上のお子さまを乗せないでください。

【首すわり】

- 首が完全にすわるまでは、必ずインファント インサートを使用してください。

【すわり姿勢】

- お子さまの両膝がベビーキャリアから出て、着用者の胴回りをまたく自然な開脚ができるまでは、インファント インサートを使用してください。

<一般的な注意事項>

- お子さまをベビーキャリアに乗せる前に、予め各部のバックルを留め、ストラップの長さをご自分の体に合せて調整してください。
お子さまが落下し、ケガをするおそれがあります。

<使用時の注意事項>

- 「新生児対面抱き」「対面抱き」「前向き抱き」で使用する際は、お子さまの頭で着用者の前方、特に足下の視界が妨げられるおそれがあります。歩行時は注意してください。
- 使用中は、大きく前に屈まない(約45°を超えて)でください。
- 使用中に屈む際には、必ずひざを曲げてください。
お子さまが滑り落ちてケガをするおそれがあります。
- 授乳後30分は、本製品を使用しないでください。
本製品の使用により、おなかを圧迫し、お子さまが嘔吐により窒息するおそれがあります。授乳後は必ずベビーキャリアをはずしてください。
- 取扱説明書に記載されている以外の抱き方をしないでください。
落下、窒息、お子さまの股関節に悪影響が出るなどのおそれがあります。
- お子さまを乗せるときは、必ず安全な場所で行ってください。

● 新生児対面抱き

インファント インサートを使い、お子さまとご自分が向きあうように抱く方法が「新生児対面抱き」です。

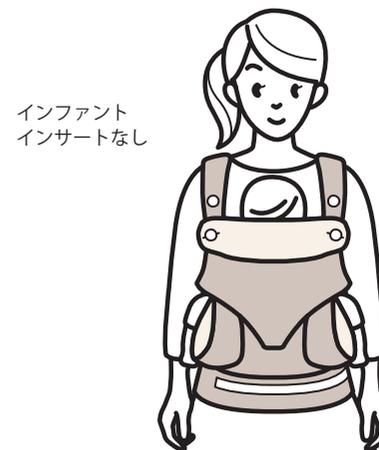


<使用条件>

- 首がすわらない
- 体重 3.2kg以上

● 対面抱き

新生児対面抱きと同じ方法で、インファント インサートを使わずに抱く方法が「対面抱き」です。



<使用条件>

- 首が完全にすわっている
- 4カ月以上
- 体重 5.5kg以上
- 両膝がベビーキャリアを出る

月齢などの目安は「成長に合わせた快適使い方ガイド」(P.3)をごらんください。

インファント インサートⅡ を使う

警告

- 「安全上のご注意」の「インファント インサート」(P.20)をあわせてお読みください。

POINT

インファント インサートの「INSTRUCTION MANUAL」と取扱説明書もあわせてご覧ください。

●月齢と使いかたのめやす

月齢 1～2カ月頃

手脚がインファント インサートの内側に入ります。

→ P.37



月齢 3～4カ月頃

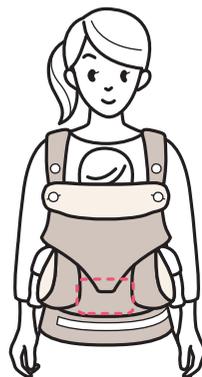
手脚がインファント インサートの外側に出ます。

→ P.37



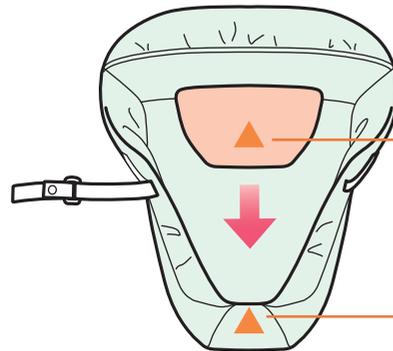
月齢 4～6カ月未満

ボトムサポートクッションのみを使って対面抱きをします。 → P.40



●ボトムサポートクッションをセットする

- 1 インファント インサートの底部に、ボトムサポートクッションをセットします。



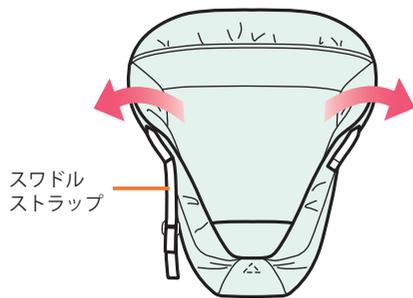
インファント インサートの▲マークと、ボトムサポートクッションの▲マークをあわせませす。

ボトムサポートクッションを使わないとき

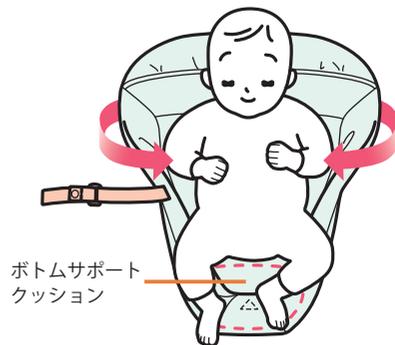
お子さまの体が大きく、ボトムサポートクッションをセットすると、頭がインファント インサートから出るときは、ボトムサポートクッションなしでインファント インサートをお使いください。

●乗せる

1 スワドルストラップをはずし、
インファント インサートを広げ
ます。



2 インファント インサートにお子さま
を乗せ、左右からくるみ、スワドル
ストラップを留めます。



ボトムサポートクッションの位置

お子さまのおしりの位置とボトムサポートクッションの位置を合わせます。お子さまを抱いたとき、お子さまがボトムサポートクッションに座るようにします。

スワドルストラップ

スワドルストラップが留まらないときは、スワドルストラップの長さを調整します。

ストラップの長さを調整する P.30

POINT

スワドルストラップが留まらなくても、途中ではずれても問題ありません。スワドルストラップは、はずれやすくできています。

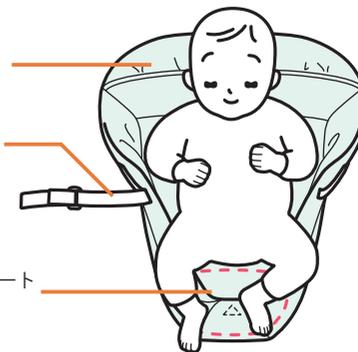
月齢1～2カ月頃

手脚がインファント インサートの内側に
入ります。



月齢3～4カ月頃

手脚がインファント インサートの外側に
出ます。



POINT

お子さまの体が大きくなり、折りまげたネッククッションの上端から、お子さまの耳の上部が出るようになったら、ネッククッションを立ちあげます。

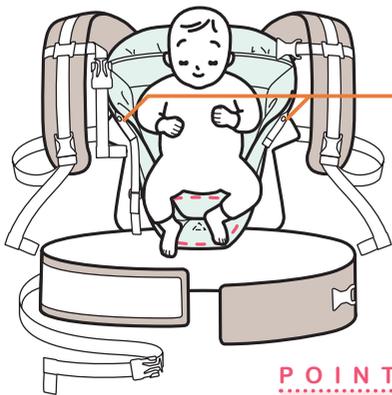
ネッククッションのスナップを止めるときは、左右両方を留めます。

●ベビーキャリアに取りつける

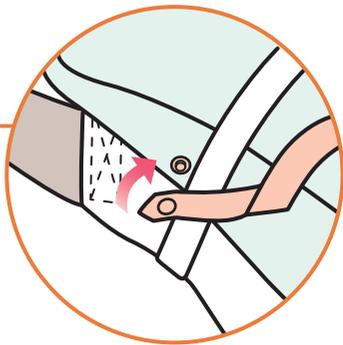
お子さまの体が大きくなり、スワドルストラップを留めないときは、インファント インサートをベビーキャリアに取りつけます。

1 お子さまをインファント インサートに乗せ、ベビーキャリアに乗せます。

乗せる [→P.37](#)



2 アタッチメントストラップを、肩ストラップに取りつけます。



POINT

アタッチメントストラップを肩ストラップに取り付けると、インファント インサートが、ずれにくくなります。

スワドルストラップと、アタッチメントストラップの両方を同時に使用することはできません。

●ボトムサポートクッションのみで使う

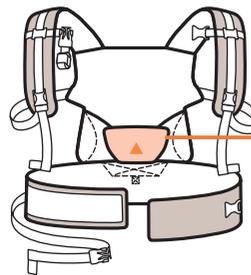
対面抱きで、お子さまの両膝がベビーキャリアから出ないときは、ボトムサポートクッションのみを、お子さまのおしりの下にいれます。

<使用条件>

- 首が完全にすわっている
- 4カ月以上
- 体重 5.5kg 以上
- 両膝がベビーキャリアから出ない

ボトムサポートクッションの向き

▲マークをめやすく、図のような向きで使います。



ボトムサポートクッション

抱きかた

お子さまをベビーキャリアに乗せ、ボトムサポートクッションをお子さまのお尻の下に入れ、肩ストラップを肩にかけます。



ボトムサポートクッション

ボトムサポートクッションの位置

お子さまを抱いたとき、お子さまがボトムサポートクッションに座るようにします。

抱く

警告

<使用条件>

【年齢】

- お子さまが、新生児から4カ月未満の場合は、必ずインファント インサートを使用してください。

【体重】

- インファント インサートは、3.2kg未満のお子さまには使用しないでください。
- 3.2kg以上、5.5kg未満では、必ずインファント インサートを使用してください。
- ベビーキャリアには、15kg以上のお子さまを乗せしないでください。

【首すわり】

- 首が完全にすわるまでは、必ずインファント インサートを使用してください。

【すわり姿勢】

- お子さまの両膝がベビーキャリアから出て、着用者の胴回りをまたぐ自然な開脚ができるまでは、インファント インサートを使用してください。

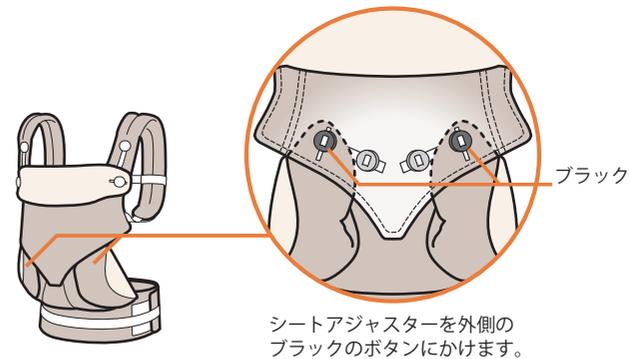
<一般的な注意事項>

- お子さまをベビーキャリアに乗せる前に、予め各部のバックルを留め、ストラップの長さをご自分の体に合せて調整してください。
お子さまが落下し、ケガをするおそれがあります。

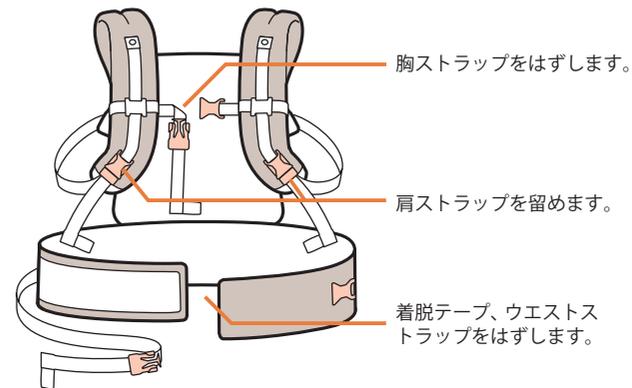
<使用時の注意事項>

- 「新生児対面抱き」「対面抱き」「前向き抱き」で使用する際は、お子さまの頭で着用者の前方、特に足下の視界が妨げられるおそれがあります。歩行時は注意してください。
- 使用中は、大きく前に屈まない(約45°を超えて)でください。
- 使用中に屈む際には、ひざを曲げてください。
お子さまが滑り落ちてケガをするおそれがあります。
- 授乳後30分は、本製品を使用しないでください。
本製品の使用により、おなかを圧迫し、お子さまが嘔吐により窒息するおそれがあります。授乳後は必ずベビーキャリアをはずしてください。
- 取扱説明書に記載されている以外の抱き方をしないでください。
落下、窒息、お子さまの股関節に悪影響が出るなどのおそれがあります。
- シートアジャスターは、必ず留めた状態で使用してください。
- お子さまを乗せた状態で、シートアジャスターのボタンを掛け替えないでください。
開口部が広くなり、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。
- お子さまを乗せるときは、必ず安全な場所で行ってください。

●準備する



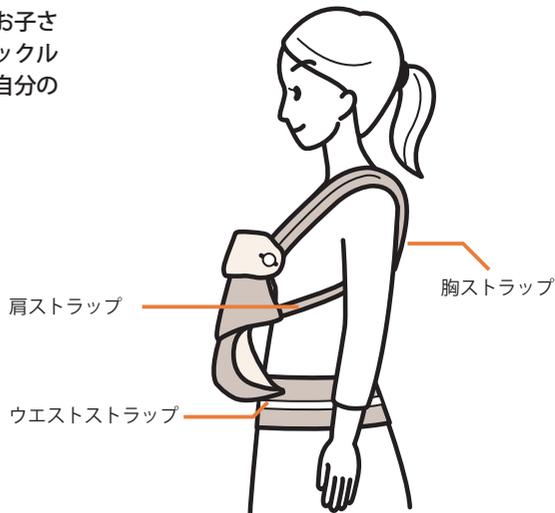
調整する → P.27



●調整する

調整する …… P.27

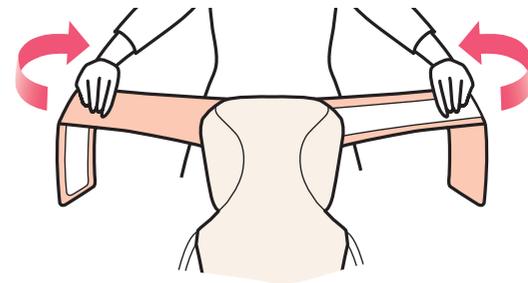
- 1 次ページからの手順を参考に、お子さまを抱かない状態で、各部のバックルを留め、ストラップの長さをご自分の体にあわせて調整します。



- 2 ウエストストラップのバックルと着脱テープ、胸ストラップのバックルをはずして、ベビーキャリアを体からはずし、次ページからの手順でお子さまを抱きます。

●抱く

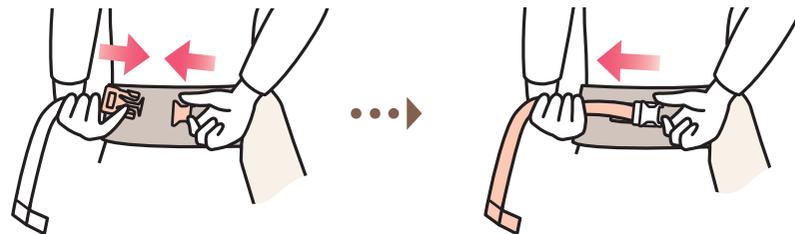
- 1 ウエストバンドを装着します。
ウエストバンドを装着する …… P.31



- 2 ウエストストラップのバックルをカチッと音がするまで留め、ウエストストラップを調整します。

POINT

「バックルを留める」(P.29)をごらんいただき、ストラップのあまりを処理してください。



バックルを留める …… P.29

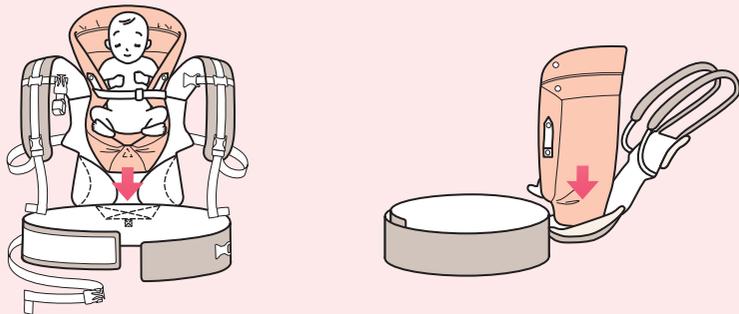
ストラップの長さを調整する …… P.30

- 3 お子さまを抱きあげ、お子さまを片手で直接支えながら、反対の手でベビーキャリアをお子さまの背中にかぶせます。



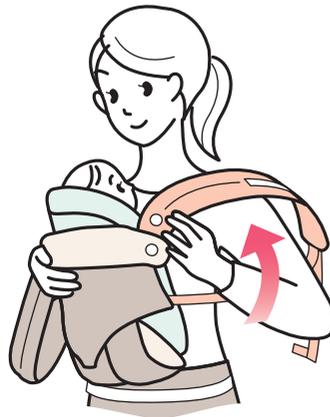
POINT

新生児対面抱きで、お子さまをベビーキャリアの中に入れるとき、インファント インサートの底面とベビーキャリアの底面を合わせます。

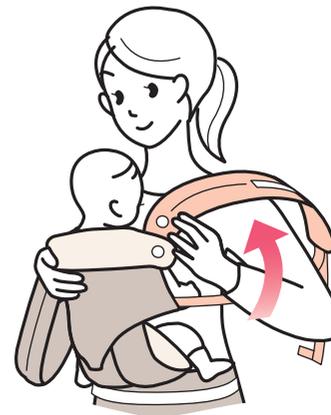


- 4 お子さまの背中を片手で支えながら、左右のパッド入り肩ストラップを肩にかけます。

新生児対面抱き

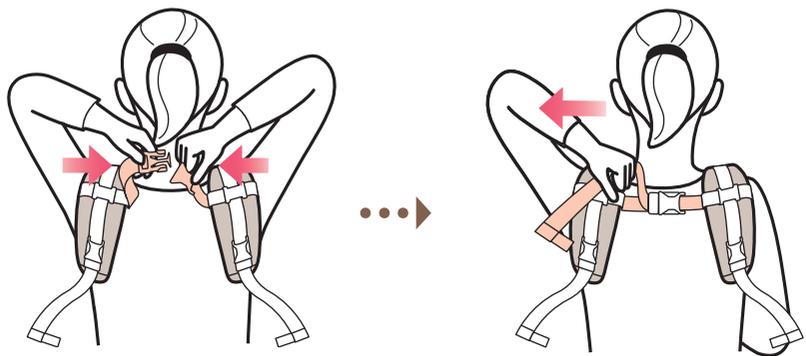


対面抱き



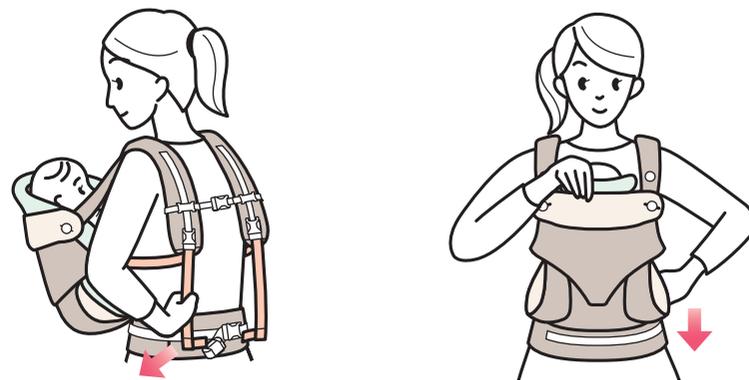
- 5 胸ストラップのバックルをカチッと音がするまで留め、胸ストラップを調整します。

バックルを留める …… P.29



- 6 片手でベビーキャリアの上部を持ちながら、片方ずつ肩ストラップを調整します。

ストラップの長さを調整する …… P.30



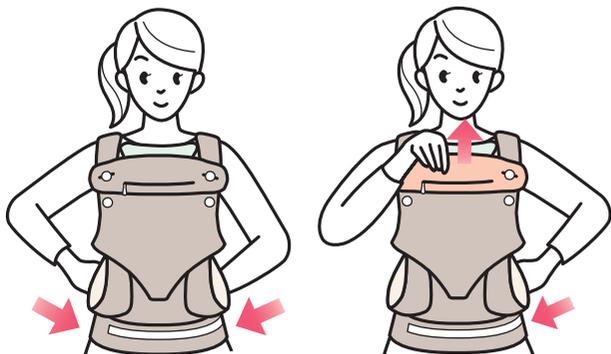
POINT

- 両方の肩ストラップを同時に調整しないでください。
- 両方の肩ストラップを、同じ長さに調整します。
- 肩ストラップを調整すると、胸ストラップの位置が下がります。



7 お子さまの位置を調整します。

新生児対面抱き



ベビーキャリアの両脇から手を入れ、インファント インサートがベビーキャリアの中央に来るように調整します。

バックパネルを持ち、ベビーキャリアの脇から手を入れ、インファント インサートの底面とベビーキャリアの底面を合わせます。

対面抱き



ベビーキャリアの両脇を引き、お子さまがベビーキャリアに深くお座りするよう調整します。

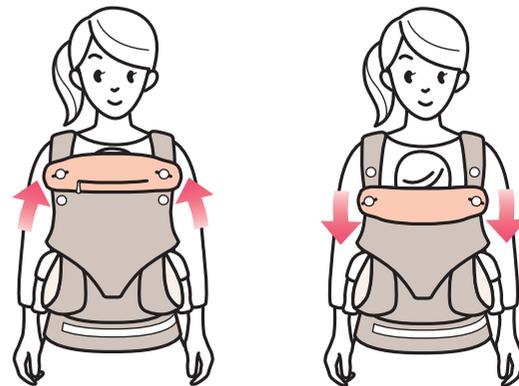
8 インファント インサートとバックパネルを調整します。

新生児対面抱き



必要に応じてネッククッションを立ちあげます。

対面抱き



お子さまが眠るときなど、お子さまの頭部をサポートする必要があるときは、バックパネルを立ちあげ、ボタンを上にかかけます。

お子さまの頭部をサポートする必要がないときは、バックパネルを折りかえし、ボタンを下にかかけます。

チェックと調整

警告

<使用前の注意事項>

- ウエストバンド、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップは正しく調整して使用してください。

お子さまがすき間から落下する、ももが擦れるなど、ケガをするおそれがあります。

<使用時の注意事項>

- 安全用ゴムループを必ず使用してください。

安全用ゴムループを使用しないと、バックルが破損等により外れた場合に、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。

- 生後4カ月、または首が完全にすわるまでは、お子さまを着用者の体に密着させるような抱き方をしないでください。

- お子さまの顔のまわりに十分な空間があり、頭部が動くくらいに調整してください。

お子さまが窒息するおそれがあります。

- ウエストバンドの着脱テープ、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップのバックルは、正しく留めて使用してください。

お子さまがすき間から落下してケガをするおそれがあります。

注意

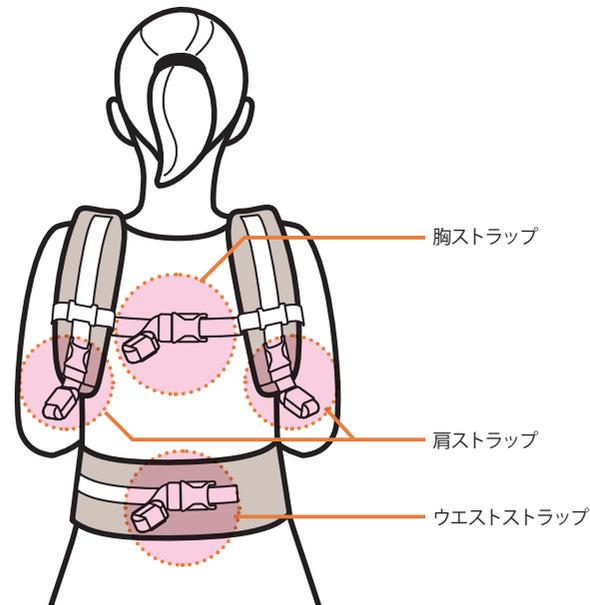
<使用時の注意事項>

- 使用中は、お子さまの位置や姿勢の調整が行えるように、常に両手が使えるようにしておいてください。

- 使用中にお子さまの脚が圧迫されたり、締め付けられないように注意してください。

- お子さまが本製品の中で動くことで、着用者がバランスを崩すおそれがありますので注意してください。

●バックルとストラップ



次の点をチェックします。

- バックルが留まっている。
- ストラップのあまりを丸め、ストラップまとめゴムでまとめている。
- ストラップが安全用ゴムループを通っている。
- お子さまの手脚がストラップなどにはさまっていない。

警告

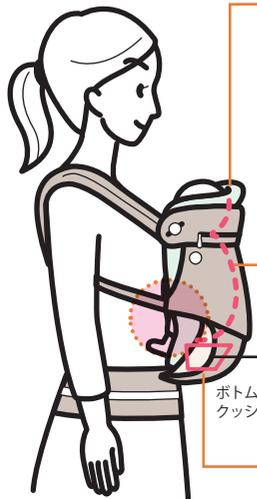
<使用時の注意事項>

● 気道をふさいでしまう危険性があるため、乳幼児の顎と胸が着く姿勢にならない様に注意してください。乳幼児の顎の下と胸の間には最低でも指2本分の間隔が必要です。

● 気道をふさいでしまう危険性があるため、乳幼児の腹部と着用者の間にこぶし1つ分の間隔をとるように、肩ストラップの長さを調整してください。

● お子さまの位置や姿勢

新生児対面抱き



インファント インサートで、お子さまの頭を支えます。

お子さまの背中が自然にアーチを描くようにします。

お子さまの太ももがベビーカーに支えられるようにします。

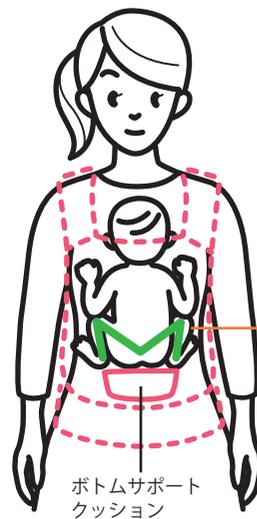
お子さまがボトムサポートクッション、またはベビーカーの底面に座るようにします。

ボトムサポートクッション

対面抱き



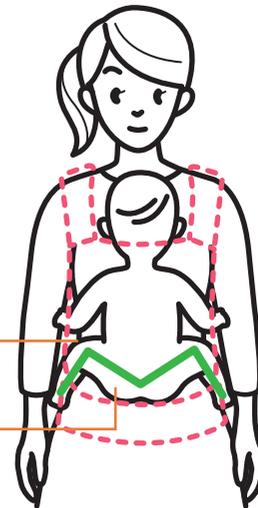
新生児対面抱き



お子さまの股関節が開き、脚が自然なM字型になるようにします。

お子さまの脚で自分の体を挟むようにします。

対面抱き



- 無理に手脚を入れこんだり、出したりする必要はありません。自然な姿勢をさせてあげましょう。
- お子さまの体が大きく傾かないよう、また、お子さまの体とご自分の体が密着しすぎないようにします。
- ご自分のおへその前で、お子さまと向きあうようにします。

フードを使う

警告

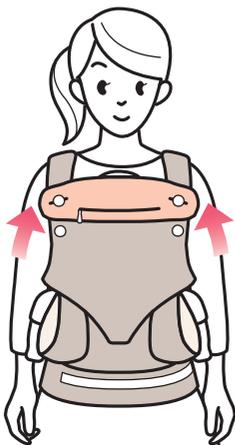
<使用時の注意事項>

- フードを使用しないときは、フードポケットに収納してください。
フードがお子さまの顔にかかる、窒息するおそれがあります。

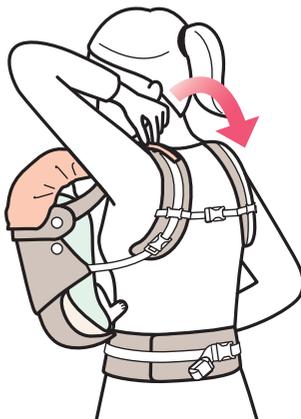
- フードを使用する際は、フードストラップを正しく調整して使用してください。

フードストラップを使わないとフードがお子さまの顔にかかって窒息したり、フードストラップが引っかかり着用者が転倒するなどのおそれがあります。

- 1 バックパネルを立ちあげ、ボタンを上にかけます。



- 2 フードをフードポケットから引きだし、両方のフードストラップを、フード固定スナップに留めます。



授乳する

警告

<使用時の注意事項>

- 授乳後 30分は、本製品を使用しないでください。
本製品の使用により、おなかを圧迫し、お子さまが嘔吐により窒息するおそれがあります。授乳後は必ずベビーキャリアをはずしてください。

- 授乳は立ったまま行わず、安全な場所に座った状態で行ってください。

授乳するときは、肩ストラップをゆるめます。

フードを使うと、プライバシーを保つことができます。

ストラップの長さを調整する [P.30](#)

フードを使う [P.55](#)

POINT

授乳後は、お子さまをベビーキャリアから降ろしてください。

降ろす

警告

<使用時の注意事項>

- ウエストバンドは、お子さまを降ろしてから最後に外してください。

- お子さまを降ろすときは、ひざをつくなどの低い姿勢で、必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所などで行くと、バランスを崩してお子さまが落下するおそれがあります。

●準備する

フードを使っているときは、フードをはずし、フードポケットにしまいます。

フードを使う […P.55](#)

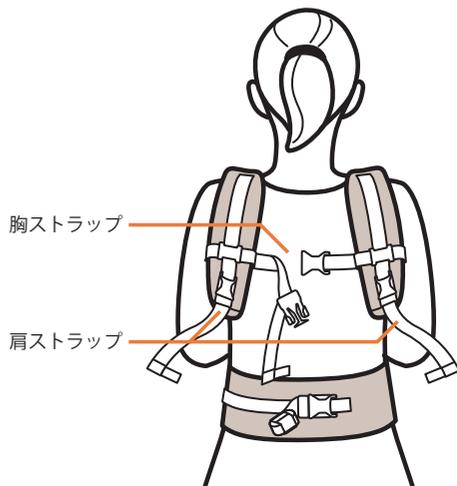
アタッチメントストラップをはずします。

ベビーキャリアに取りつける […P.39](#)

肩ストラップをゆるめます。

胸ストラップをはずします。

調整する […P.27](#)



●降ろす

新生児対面抱き

- 1 お子さまを片手でインファント インサートの外側から支えながら、左右のパッド入り肩ストラップをはずします。

調整する […P.27](#)

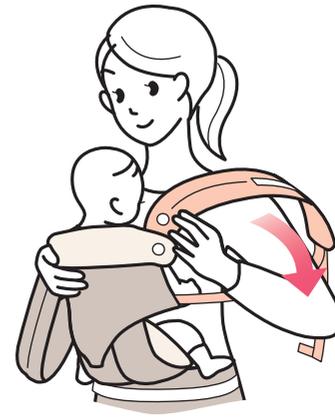


- 2 お子さまを降ろしてから、ウエストバンドをはずします。

対面抱き

- 1 お子さまを片手で支えながら、左右のパッド入り肩ストラップをはずします。

調整する […P.27](#)



- 2 お子さまを降ろしてから、ウエストバンドをはずします。

抱く

警告

＜使用条件＞

【体重】

- ベビーキャリアには、15kg以上のお子さまを乗せないでください。

＜一般的な注意事項＞

- お子さまをベビーキャリアに乗せる前に、予め各部のバックルを留め、ストラップの長さをご自分の体に合せて調整してください。

お子さまが落下し、ケガをするおそれがあります。

- 首が完全にすわるまでは、「前向き抱き」をしないでください。
- 「対面抱き」に慣れてから、「前向き抱き」をお試しください。

- 「前向き抱き」のときに、バックパネルがお子さまの顔、首にかからないように十分に空間をとってください。

お子さまが窒息するおそれがあります。

＜使用時の注意事項＞

- 使用中は、大きく前に屈まない(約45°を超えて)でください。
 - 使用中に屈む際には、ひざを曲げてください。
- お子さまが滑り落ちてケガをするおそれがあります。

- 授乳後 30分は、本製品を使用しないでください。

本製品の使用により、おなかを圧迫し、お子さまが嘔吐により窒息するおそれがあります。授乳後は必ずベビーキャリアをはずしてください。

- 「前向き抱き」では、フードを使用しないでください。

お子さまが窒息するおそれがあります。

- 取扱説明書に記載されている以外の抱き方をしないでください。

落下、窒息、お子さまの股関節に悪影響が出るなどのおそれがあります。

- シートアジャスターは、必ず留めた状態で使用してください。

- お子さまを乗せた状態で、シートアジャスターのボタンを掛け替えないでください。

開口部が広くなり、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。

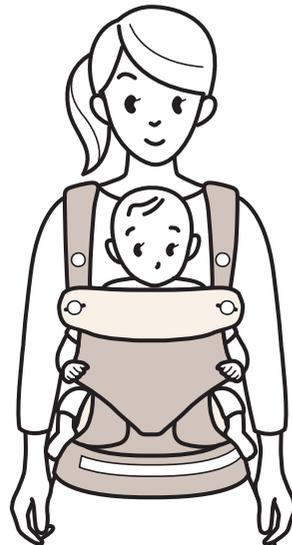
- お子さまを乗せるときは、必ず安全な場所で行ってください。

警告

＜一般的な注意事項＞

- 「前向き抱き」のときに、バックパネルがお子さまの顔、首にかからないように十分な空間をとってください。

お子さまが窒息するおそれがあります。

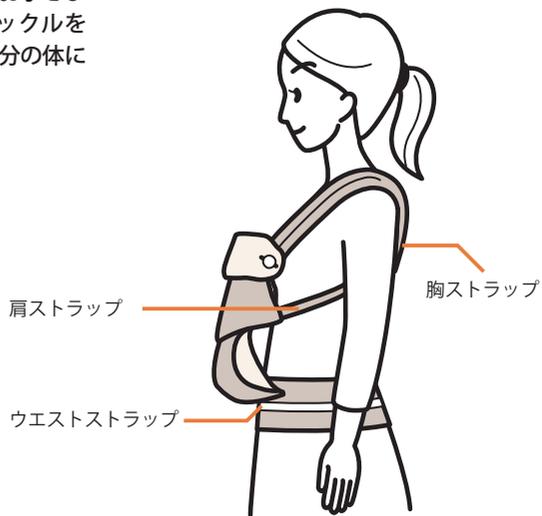


インファント インサートを使わず、お子さまがご自分と同じ方向を向くように抱く方法が「前向き抱き」です。

＜使用条件＞

- 首が完全にすわっている
- 5カ月以上
- 体重6.4kg以上
- 両膝がベビーキャリアを出る

月齢などのめやすは「成長に合わせた快適使い方ガイド」(P.3)をごらんください。



●調整する

調整する →P.27

- 1 次ページからの手順を参考に、お子さまを抱かない状態で、各部のバックルを留め、ストラップの長さをご自分の体にあわせて調整します。

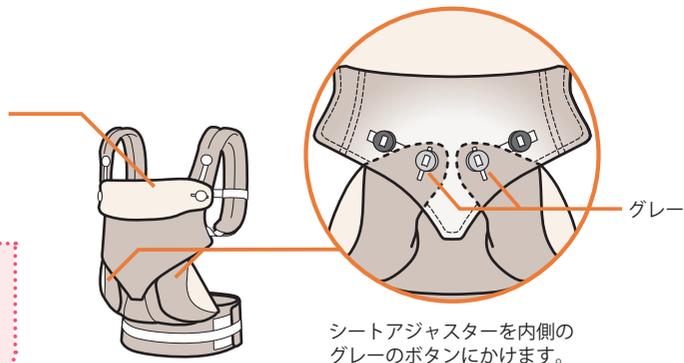
- 2 ウエストストラップのバックルと着脱テープ、胸ストラップのバックルをはずして、ベビーキャリアを体からはずし、次ページからの手順でお子さまを抱きます。

●準備する

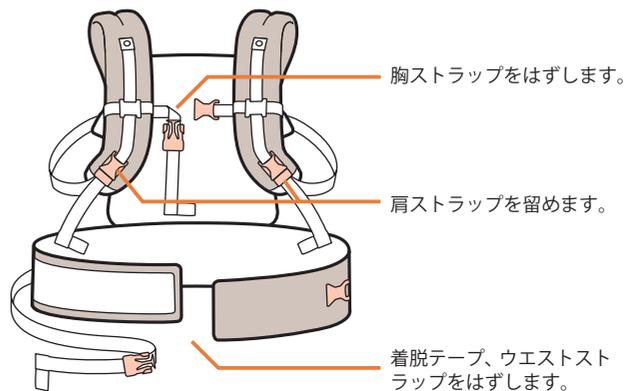
フードをフードポケットにしまします。
バックパネルを折り返し、ボタンを下にかけます。

POINT

バックパネルは常に折り返し、ボタンを下にかけます。



調整する →P.27

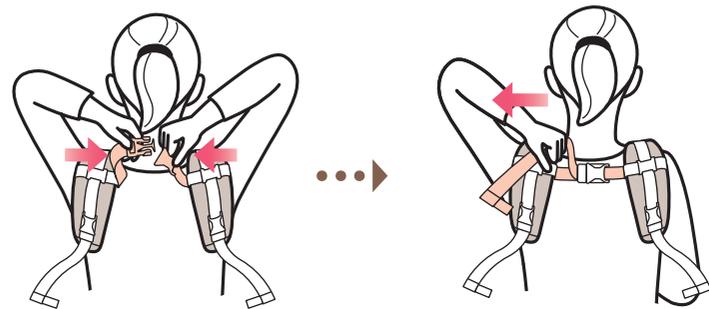




- 3** お子さまをベビーキャリアに前向きで乗せ、お子さまを片手で支えながら、左右のパッド入り肩ストラップを肩にかけます。

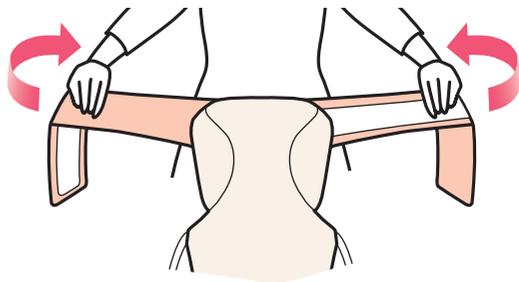
- 4** 胸ストラップのバックルをカチッと音がするまで留め、胸ストラップを調整します。

バックルを留める
→ P.29

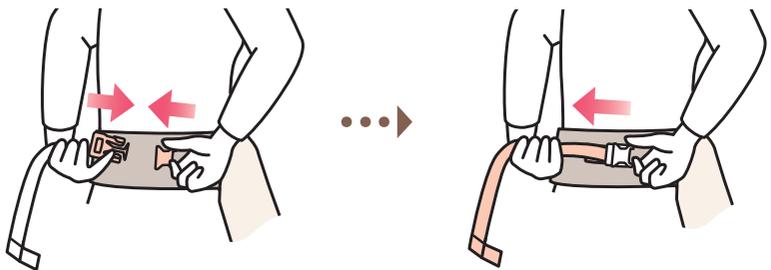


●抱く

- 1** ウエストバンドを装着します。
ウエストバンドを装着する
→ P.31



- 2** ウエストストラップのバックルをカチッと音がするまで留め、ウエストストラップを調整します。



バックルを留める → P.29

ストラップの長さを調整する → P.30

6 お子さまの位置を調整します。



ベビーキャリアの両脇から手を入れ、お子さまがベビーキャリアの中央に来るように調整します。



バックパネルや、左右のシートアジャスターを持ち、たるみがないように調整します。

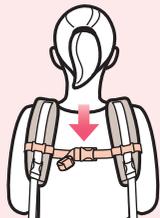
5 片手でバックパネルを持ちながら、片方ずつ肩ストラップを調整します。

ストラップの長さを調整する → P.30



POINT

- 両方の肩ストラップを同時に調整しないでください。
- 両方の肩ストラップを、同じ長さに調整します。
- 肩ストラップを調整すると、胸ストラップの位置が下がります。



チェックと調整

警告

<使用前の注意事項>

- ウエストバンド、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップは正しく調整して使用してください。

お子さまがすき間から落下する、ももが擦れるなど、ケガをするおそれがあります。

<使用時の注意事項>

- 安全用ゴムループを必ず使用してください。
安全用ゴムループを使用しないと、バックルが破損等により外れた場合に、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。

- お子さまの顔のまわりに十分な空間があり、頭部が動くくらいに調整してください。
お子さまが窒息するおそれがあります。

- ウエストバンドの着脱テープ、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップのバックルは、正しく留めて使用してください。

お子さまがすき間から落下してケガをするおそれがあります。

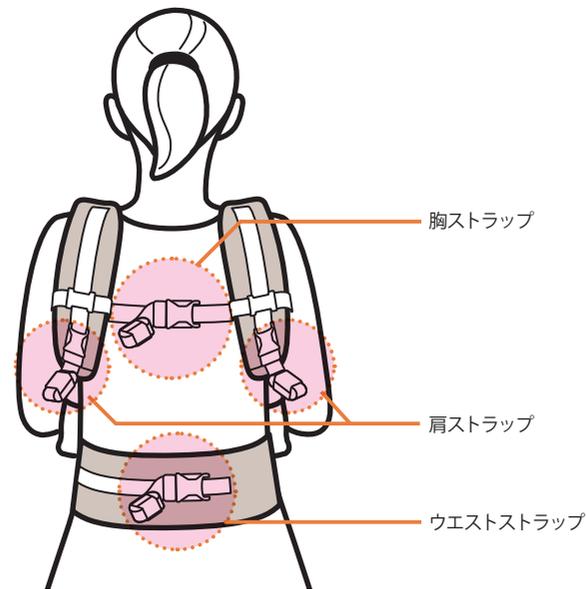
注意

<使用時の注意事項>

- 使用中は、お子さまの位置や姿勢の調整が行えるように、常に両手が使えるようにしておいてください。
- 使用中にお子さまの脚が圧迫されたり、締め付けられないように注意してください。

- お子さまが本製品の中で動くことで、着用者がバランスを崩すおそれがありますので注意してください。

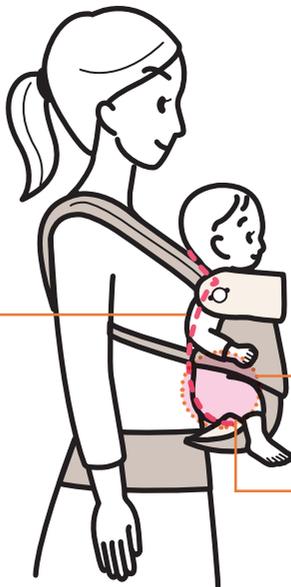
●バックルとストラップ



次の点をチェックします。

- バックルが留まっている。
- ストラップのあまりを丸め、ストラップまとめゴムでまとめている。
- ストラップが安全用ゴムループを通っている。
- お子さまの手脚がストラップなどにはさまっていない。

●お子さまの位置や姿勢

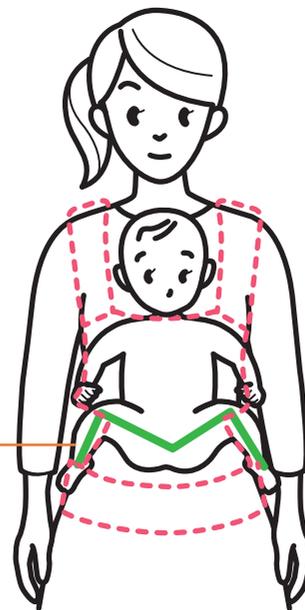


お子さまの背中が自然にアーチを描くようにします。

お子さまの太ももがベビーキャリアに支えられるようにします。

お子さまがベビーキャリアの底面に座るようにします。

- 無理に手脚を入れこんだり、出したりする必要はありません。自然な姿勢をさせてあげましょう。
- お子さまの体が大きく前に傾かないよう、お子さまの背中とご自分のおなかを密着するように肩ストラップを調整します。
- お子さまの体調がすぐれないとき、眠いとき、疲れているときは、前向き抱きをしないでください。



お子さまの股関節が開き、脚が自然なM字型になるようにします。



●降ろす

1 お子さまを片手で支えながら、左右のパッド入り肩ストラップをはずします。

2 お子さまを降ろしてから、ウエストバンドをはずします。

降ろす

⚠ 警告

<使用時の注意事項>

● ウエストバンドは、お子さまを降ろしてから最後に外してください。

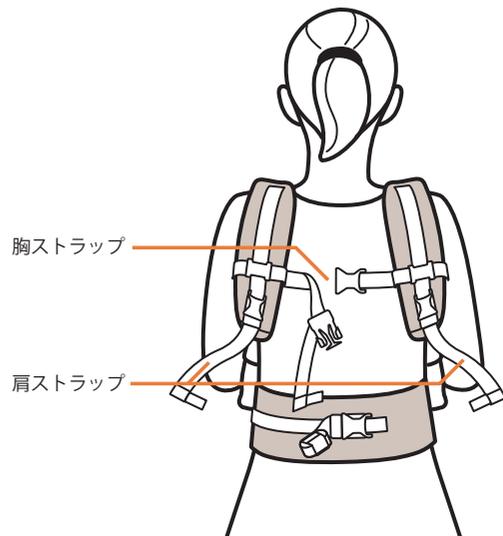
● お子さまを降ろすときは、ひざをつくなどの低い姿勢で、必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所などで行くと、バランスを崩してお子さまが落下するおそれがあります。

●準備する

肩ストラップをゆるめます。

胸ストラップをはずします。

調整する → P.27



抱く

警告

<使用条件>

【体重】

- ベビーキャリアには、15kg以上のお子さまを乗せないでください。

<一般的な注意事項>

- お子さまをベビーキャリアに乗せる前に、予め各部のバックルを留め、ストラップの長さをご自分の体に合せて調整してください。
お子さまが落下し、ケガをするおそれがあります。
- 首が完全にすわるまでは、「腰抱き」をしないでください。
- 腰がすわるまでは、「腰抱き」をしないでください。
- 「対面抱き」に慣れてから、「腰抱き」をお試しください。

<使用時の注意事項>

- 使用中は、大きく前に屈まない(約45°を超えて)でください。
- 使用中に屈む際には、ひざを曲げてください。
お子さまが滑り落ちてケガをするおそれがあります。
- 授乳後30分は、本製品を使用しないでください。
本製品の使用により、おなかを圧迫し、お子さまが嘔吐により窒息するおそれがあります。授乳後は必ずベビーキャリアをはずしてください。
- 「腰抱き」では、フードを使用しないでください。
フードストラップが固定できずに、フードがお子さまの顔にかかり窒息したり、フードストラップが引っかかり着用者が転倒するなどのおそれがあります。
- 取扱説明書に記載されている以外の抱き方をしないでください。
とくに次の抱き方はしないでください
 - ・「腰抱き」でお子さまが外向き落下、窒息、お子さまの股関節に悪影響が出るなどのおそれがあります。
- お子さまを乗せるときは、必ず安全な場所で行ってください。

お子さまがご自分の斜め前に抱く方法が「腰抱き」です。



<使用条件>

- 首が完全にすわっている
- 腰がすわっている
- 6カ月以上
- 体重7.8kg以上
- 両膝がベビーキャリアを出る

月齢などの目安は「成長に合わせた快適使い方ガイド」(P.3)をごらんください。

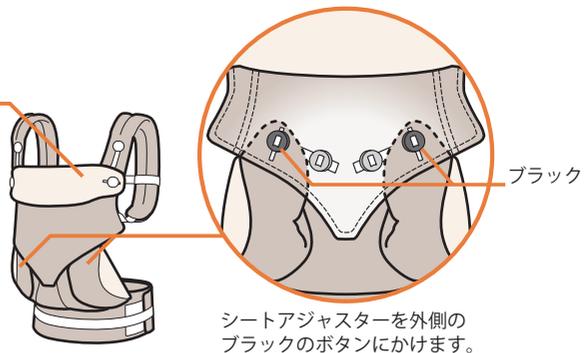
腰抱きは、ご自分から見て、お子さまを右側または左側に抱きます。ここでは、ご自分から見て、お子さまを左側に抱く方法をご説明します。

●準備する

フードをフードポケットにしまします。
バックパネルを折り返し、ボタンを下にかけます。

POINT

バックパネルは常に折り返し、ボタンを下にかけます。



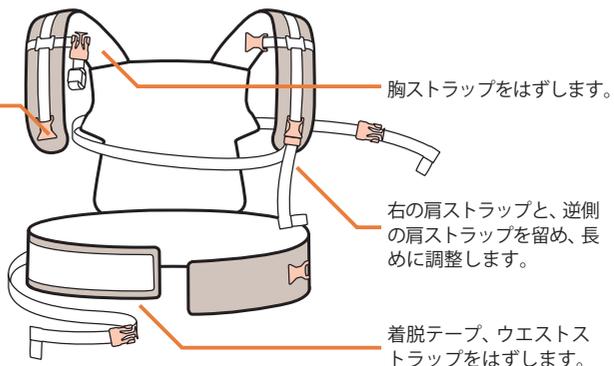
調整する →P.27

左の肩ストラップをはずします。

胸ストラップをはずします。

POINT

胸ストラップは使いません。胸ストラップは短く調整して、ストラップまともめゴムでまともめます。

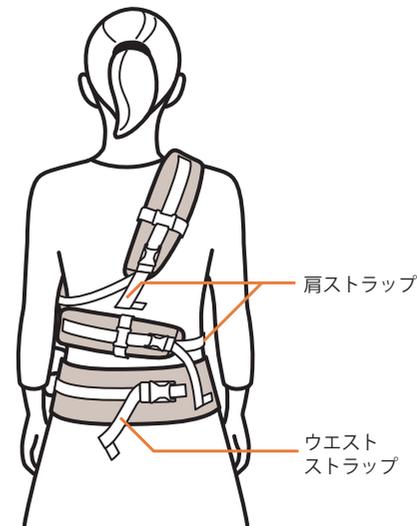


●調整する

調整する →P.27

1 次ページからの手順を参考に、お子さまを抱かない状態で、各部のバックルを留め、ストラップの長さをご自分の体にあわせて調整します。

2 ウエストストラップのバックルと着脱テープ、胸に巻いた肩ストラップのバックルをはずして、ベビーキャリアを体からはずし、次ページからの手順でお子さまを抱きます。

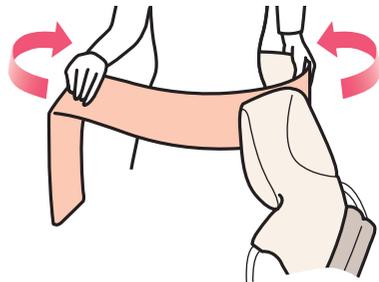


●抱く

- 1 ウエストバンドを装着し、体の左斜め前に回します。

ウエストバンドを装着する

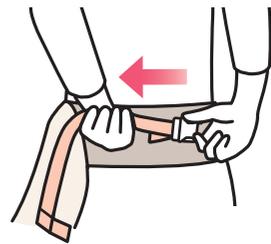
… P.31



- 2 ウエストストラップのバックルをカチッと音がするまで留め、ウエストストラップを調整します。



バックルを留める … P.29

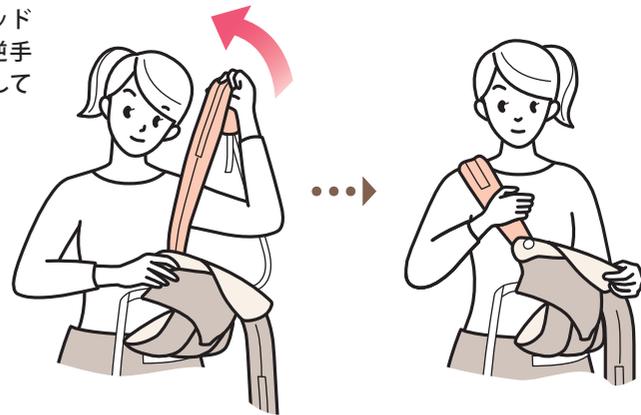


ストラップの長さを調整する … P.30

POINT

「バックルを留める」(P.29)をごらんいただき、ストラップのあまりを処理してください。

- 3 左手で、留めてあるパッド入り肩ストラップを逆手に持ち、頭の上をとおして右肩にかけます。

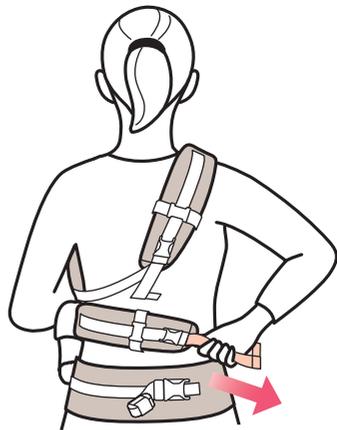


- 4 お子さまを、ベビーキャリアの上からベビーキャリアに乗せます。

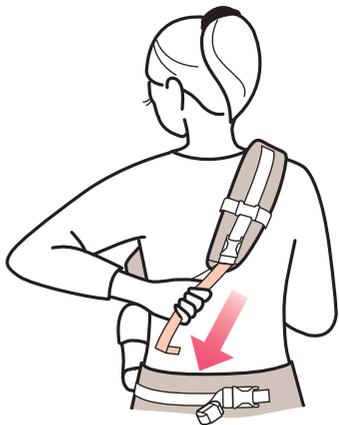
POINT

お子さまの足先がストラップに引っかからないよう、下から誘導します。

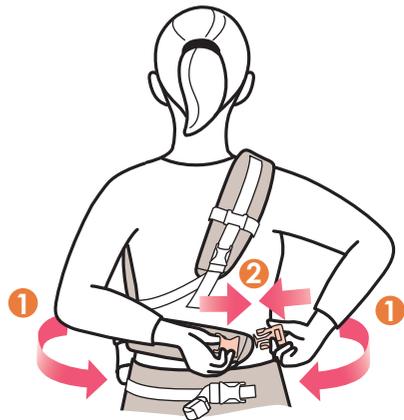




- 6 胸に巻いた肩ストラップを調整します。
ストラップの長さ
を調整する …… P.30



- 4 肩ストラップを調整します。
ストラップの長さ
を調整する …… P.30



- 5 はずしてあるパッド入り肩ストラップを胸に巻き、パッド入り肩ストラップのバックルをカチッと音がするまで留めます。

バックルを留める …… P.29

チェックと調整

警告

<使用前の注意事項>

- ウエストバンド、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップは正しく調整して使用してください。

お子さまがすき間から落下する、ももが擦れるなど、ケガをするおそれがあります。

<使用時の注意事項>

- 安全用ゴムループを必ず使用してください。
安全用ゴムループを使用しないと、バックルが破損等により外れた場合に、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。
- ウエストバンドの着脱テープ、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップのバックルは、正しく留めて使用してください。
お子さまがすき間から落下してケガをするおそれがあります。

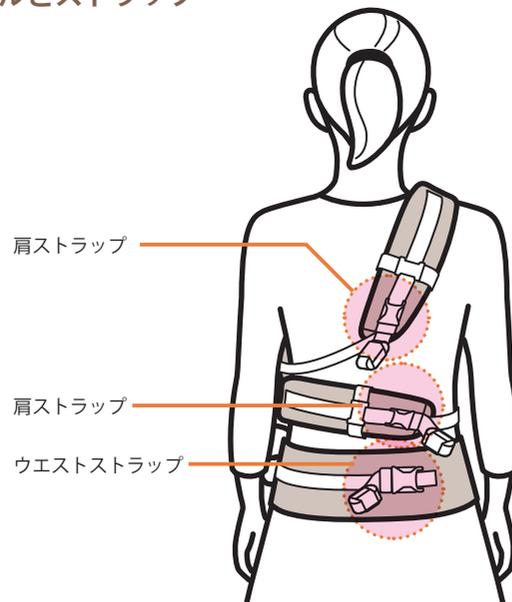
注意

<使用時の注意事項>

- 使用中は、お子さまの位置や姿勢の調整が行えるように、常に両手が使えるようにしておいてください。

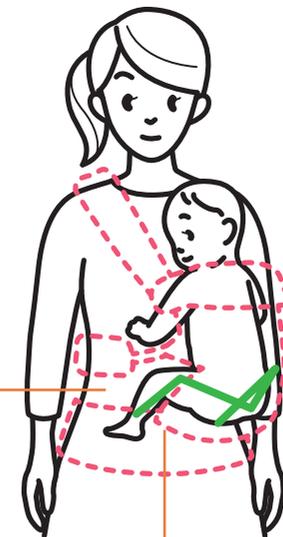
- 使用中にお子さまの脚が圧迫されたり、締め付けられないように注意してください。
- お子さまが本製品の中で動くことで、着用者がバランスを崩すおそれがありますので注意してください。

●バックルとストラップ



次の点をチェックします。

- バックルが留まっている。
- ストラップのあまりを丸め、ストラップまとめゴムでまとめている。
- ストラップが安全用ゴムループを通っている。
- お子さまの手脚がストラップなどにはさまっていない。



お子さまの股関節が開き、脚が自然なM字型になるようにします。

お子さまの脚で自分の体を挟むようにします。

●お子さまの位置や姿勢



お子さまの背中が自然にアーチを描くようにします。

お子さまがベビーキャリアの底面に座るようにします。

お子さまの太ももがベビーキャリアに支えられるようにします。

- 無理に手脚を入れこんだり、出したりする必要はありません。自然な姿勢をさせてあげましょう。
- お子さまの体が大きく傾かないよう、また、お子さまの体とご自分の体が密着しすぎないようにします。



●降ろす

1 お子さまを、ベビーキャリアの上へ抱きあげます。

2 お子さまを降ろしてから、肩ストラップ、ウエストバンドをはずします。

降ろす

⚠ 警告

<使用時の注意事項>

● ウエストバンドは、お子さまを降ろしてから最後に外してください。

● お子さまを降ろすときは、ひざをつくなどの低い姿勢で、必ず安全な場所で行ってください。

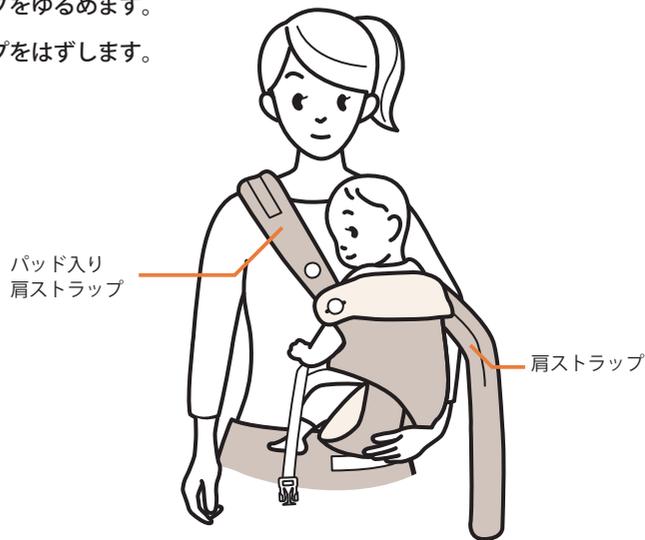
不安定な場所などで行うと、バランスを崩してお子さまが落下するおそれがあります。

●準備する

肩にかけた肩ストラップをゆるめます。

胸に巻いた肩ストラップをはずします。

調整する [P.27](#)



抱く

警告

<使用条件>

【体重】

- ベビーキャリアには、15kg以上のお子さまを乗せないでください。

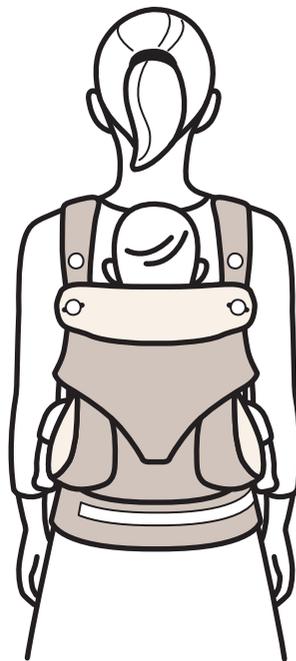
<一般的な注意事項>

- お子さまをベビーキャリアに乗せる前に、予め各部のバックルを留め、ストラップの長さをご自分の体に合せて調整してください。
お子さまが落下し、ケガをするおそれがあります。
- フード付きの服で「背負い（おんぶ）」する場合は、服のフードがお子さまの顔にかからないよう注意してください。
窒息するおそれがあります。
- 首が完全にすわるまでは、「背負い（おんぶ）」をしないでください。
- 「対面抱き」に慣れてから、「背負い（おんぶ）」をお試しください。

<使用時の注意事項>

- 使用中は、大きく前に屈まない（約45°を超えて）でください。
- 使用中に屈む際には、ひざを曲げてください。とくに「背負い（おんぶ）」の場合には注意してください。
お子さまが滑り落ちてケガをするおそれがあります。
- 授乳後30分は、本製品を使用しないでください。
本製品の使用により、おなかを圧迫し、お子さまが嘔吐により窒息するおそれがあります。授乳後は必ずベビーキャリアをはずしてください。
- 取扱説明書に記載されている以外の抱き方をしないでください。
とくに次の抱き方はしないでください
・「背負い（おんぶ）」でお子さまが外向き落下、窒息、お子さまの股関節に悪影響が出るなどのおそれがあります。
- お子さまを乗せるときは、必ず安全な場所で行ってください。

お子さまをご自分の背中におんぶする方法が「おんぶ」です。



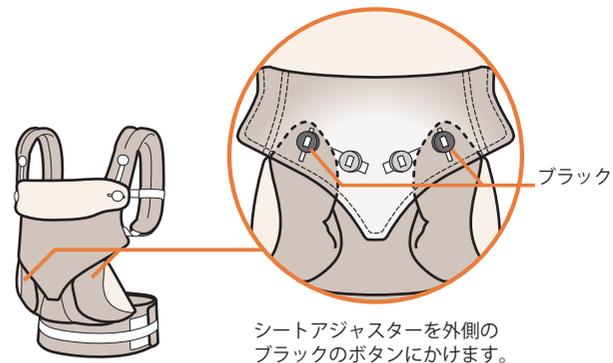
<使用条件>

- 首が完全にすわっている
- 6カ月以上
- 体重7.8kg以上
- 両膝がベビーキャリアを出る

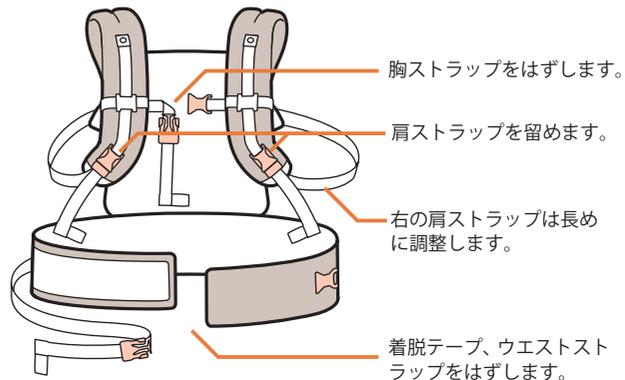
月齢などの目安は「成長に合わせた快適使い方ガイド」（P.3）をごらんください。

おんぶは、ご自分から見て、お子さまを右側または左側から背中に回します。
ここでは、ご自分から見て、お子さまを右側から背中に回す方法をご説明します。

●準備する



調整する → P.27



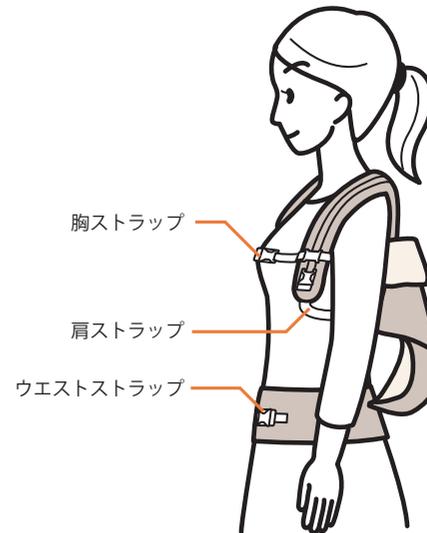
●調整する

調整する → P.27

- 1 次ページからの手順を参考に、お子さまを抱かない状態で、各部のバックルを留め、ストラップの長さをご自分の体にあわせて調整します。

POINT

全体に少しゆるめに調整します。



- 2 ウエストストラップのバックルと着脱テープ、胸ストラップのバックルをはずして、ベビーキャリアを体からはずし、右の肩ストラップを長めに調整して、次ページからの手順でお子さまを抱きます。

●抱く

- 1 ベビーキャリアを図のように持ち、ウエストバンドを、お子さまを背中に回す方向に、体の斜め前の腰にあてます。

ウエストバンドを装着する → P.31

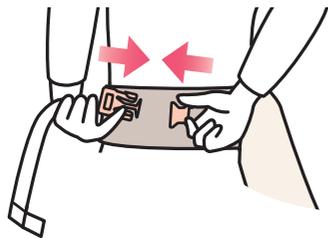
POINT

「バックルを留める」(P.29)をごらんいただき、ストラップのあまりを処理してください。

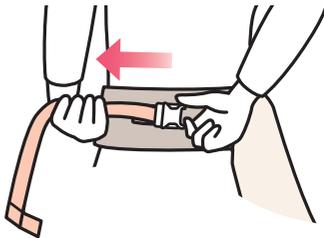
あとからお子さまを背面に回すため、少しゆるめに調整します。



- 2 ウエストバンドを腰に装着し、ウエストストラップのバックルをカチッと音がするまで留め、ウエストストラップを調整します。



バックルを留める → P.29



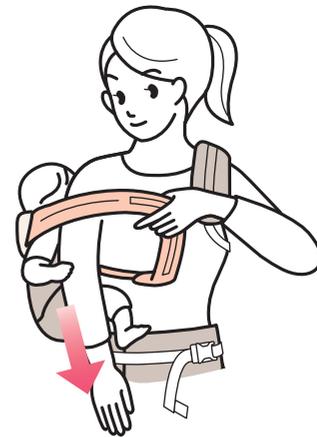
ストラップの長さを調整する → P.30

- 3 お子さまを抱きあげ、お子さまを左腕で直接支えながら、右手でベビーキャリアをお子さまの背中にかぶせます。



- 4 右腕でベビーキャリアの外側からお子さまを支え、左腕でウエストバンドを持ち、ベビーキャリアを体の右横に回します。





- 7** 左手で右側のパッド入り肩ストラップを引き上げながら、右腕をパッド入り肩ストラップに通します。

POINT

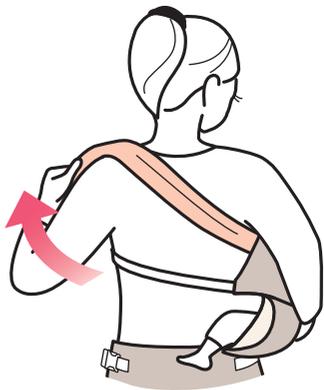
お子さまをパッド入り肩ストラップで確実に押さえます。この操作では、お子さまを腕で支えていませんので注意してください。

- 8** 右手でお子さまを支え、右側のパッド入り肩ストラップを肩にかけながら、お子さまを背中に回します。

POINT

お子さまをパッド入り肩ストラップで確実に押さえます。

- 5** 左腕を背中側に回し、パッド入り肩ストラップを左肩にかけます。



- 6** 左手で右側のパッド入り肩ストラップを持ちます。

POINT

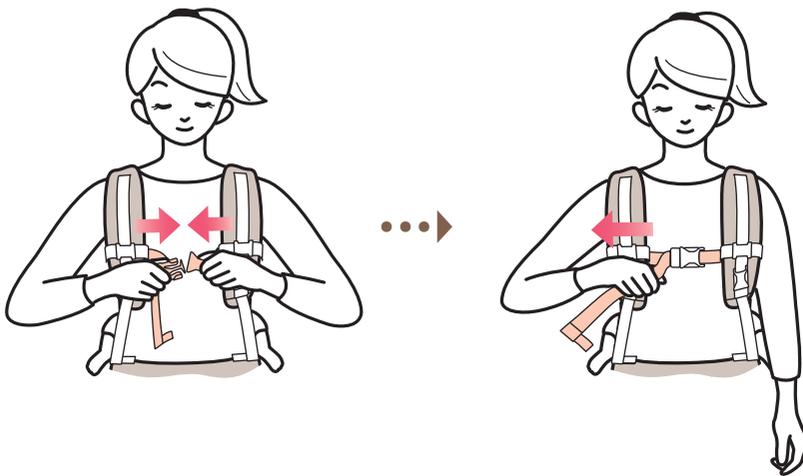
この操作で胸ストラップを持たないでください。



- 9 胸ストラップのバックルをカチッと音がるまで留め、胸ストラップを調整します。

バックルを留める ⇨ P.29

ストラップの長さを調整する ⇨ P.30



- 10 片腕でおさまのおしりを支えながら、片方ずつ肩ストラップを調整します。

ストラップの長さを調整する

⇨ P.30

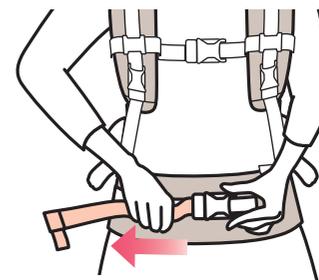
POINT

- 両方の肩ストラップを同時に調整しないでください。
- 両方の肩ストラップを、同じ長さに調整します。
- 肩ストラップを調整すると、胸ストラップの位置が下がります。

- 11 ウエストストラップを調整します。

ストラップの長さを調整する

⇨ P.30



チェックと調整

警告

<使用前の注意事項>

- ウエストバンド、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップは正しく調整して使用してください。

お子さまがすき間から落下する、ももが擦れるなど、ケガをするおそれがあります。

<使用時の注意事項>

- 安全用ゴムループを必ず使用してください。
安全用ゴムループを使用しないと、バックルが破損等により外れた場合に、お子さまが落下してケガをするおそれがあります。
- ウエストバンドの着脱テープ、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップのバックルは、正しく留めて使用してください。
お子さまがすき間から落下してケガをするおそれがあります。

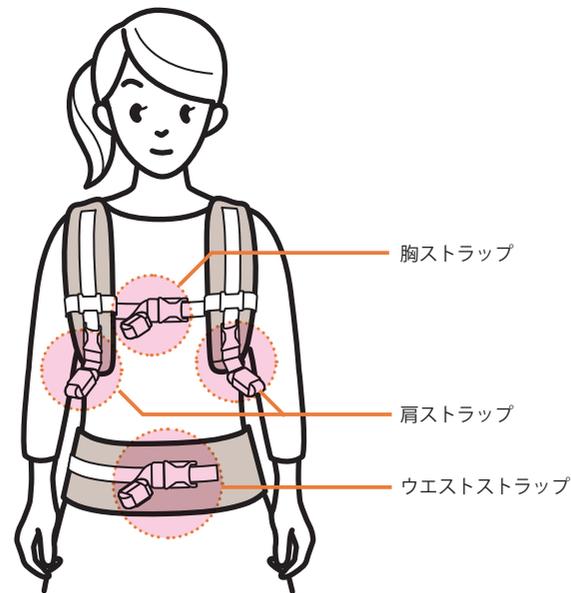
注意

<使用時の注意事項>

- 使用中は、お子さまの位置や姿勢の調整が行えるように、常に両手が使えるようにしておいてください。
- 使用中にお子さまの脚が圧迫されたり、締め付けられないように注意してください。

- お子さまが本製品の中で動くことで、着用者がバランスを崩すおそれがありますので注意してください。

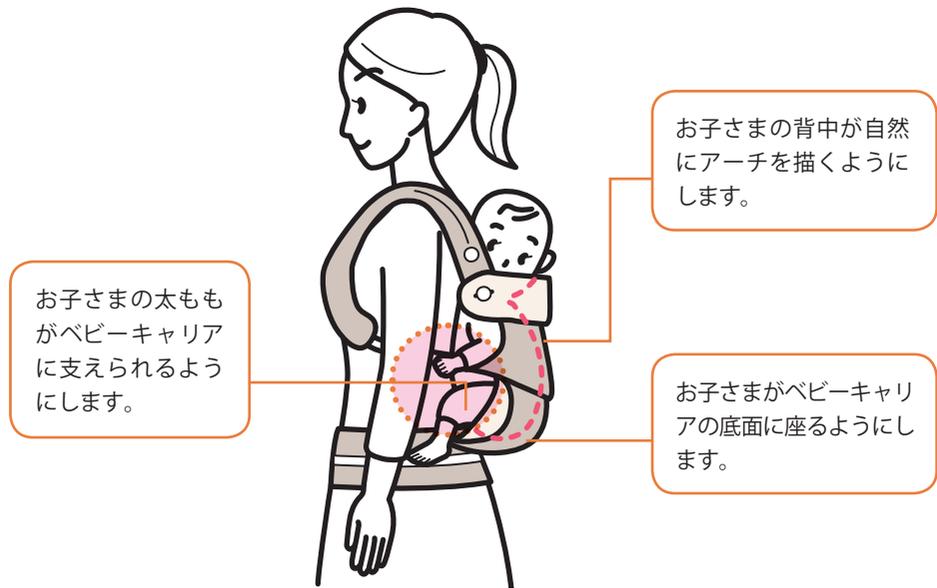
●バックルとストラップ



次の点をチェックします。

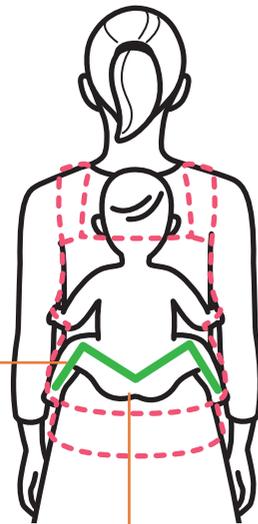
- バックルが留まっている。
- ストラップのあまりを丸め、ストラップまとめゴムでまとめている。
- ストラップが安全用ゴムループを通っている。
- お子さまの手脚がストラップなどにはさまっていない。

●お子さまの位置や姿勢



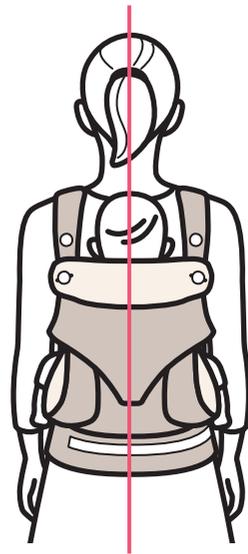
- 無理に手脚を入れこんだり、出したりする必要はありません。自然な姿勢をさせてあげましょう。
- お子さまの体が大きく傾かないよう、また、お子さまの体とご自分の体が密着しすぎないようにします。

お子さまの股関節が開き、脚が自然なM字型になるようにします。



お子さまの脚で自分の体を挟むようにします。

お子さまの体の中心と、ご自分の体の中心を合わせます。



POINT

慣れないうちは、鏡などを利用して確認してください。

降ろす

警告

<使用時の注意事項>

- ウエストバンドは、お子さまを降ろしてから最後に外してください。

- お子さまを降ろすときは、ひざをつくなどの低い姿勢で、必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所などで行うと、バランスを崩してお子さまが落下するおそれがあります。

●準備する

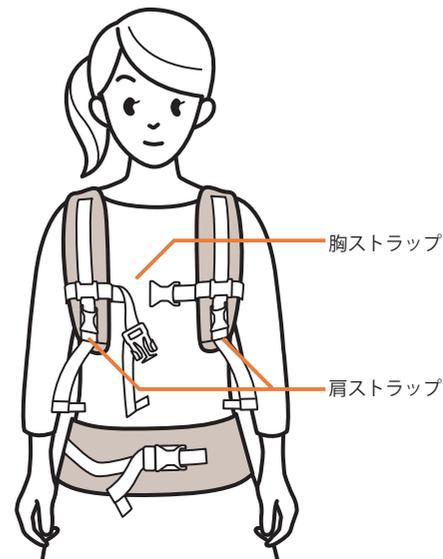
フードを使っているときは、フードをはずし、フードポケットにしまいます。

フードを使う [P.101](#)

肩ストラップをゆるめます。

胸ストラップをはずします。

調整する [P.27](#)



フードを使う

警告

<使用時の注意事項>

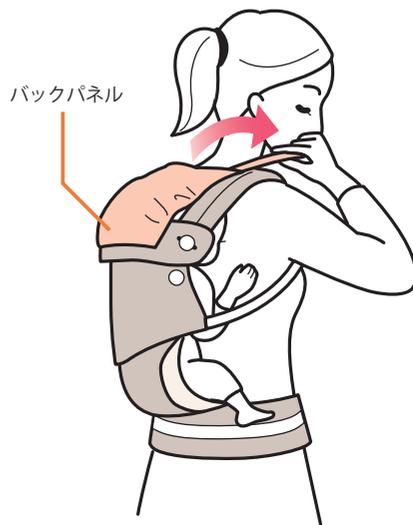
- フードを使用しないときは、フードポケットに収納してください。

フードがお子さまの顔にかかる、窒息するおそれがあります。

- フードを使用する際は、フードストラップを正しく調整して使用してください。

フードストラップを使わないとフードがお子さまの顔にかかって窒息したり、フードストラップが引っかかり着用者が転倒するなどのおそれがあります。

- 1 バックパネルを立ちあげ、ボタンを上にかけます。



- 2 フードをフードポケットから引きだし、両方のフードストラップを、フード固定スナップに留めます。

●降ろす

- 1 右手でパッド入り肩ストラップを持ち、左肩をパッド入り肩ストラップからはずします。

POINT

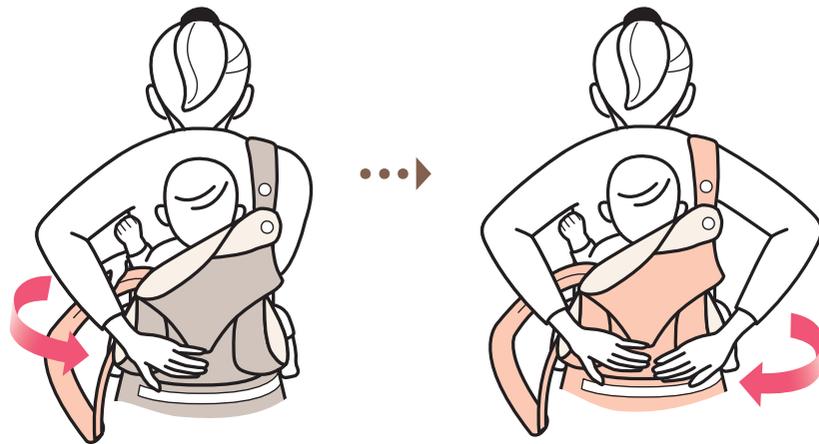
お子さまをパッド入り肩ストラップで確実に押さえます。この操作では、お子さまを腕で支えていませんので注意してください。



- 2 左手を後ろへ回してお子さまを支え、右手を背中に回してお子さまを支えます。

POINT

お子さまを手で支えるまで、パッド入り肩ストラップから手を離さないでください。



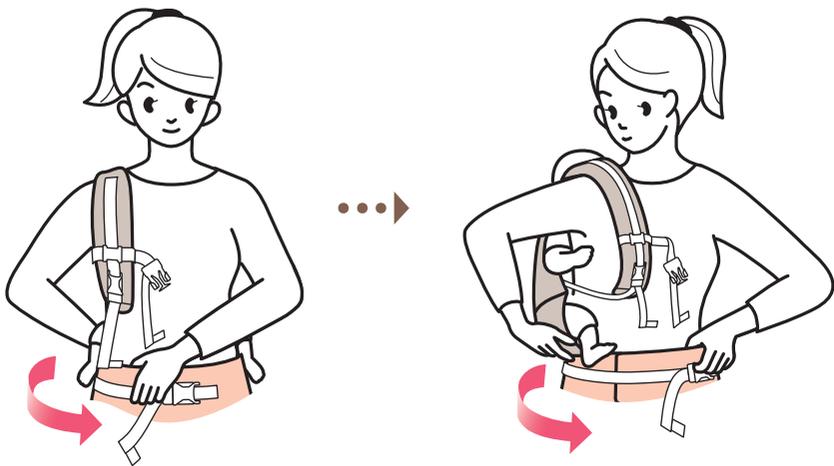
- 4 左手でベビーキャリアの外側からお子さまを支え、右肩からパッド入り肩ストラップからはずし、右腕でお子さまを直接支えながら、ベビーキャリアを体の斜め前まで回します。



- 5 お子さまを降ろしてから、ウエストバンドをはずします。



- 3 左手を前に回してウエストバンドを持ち、ベビーキャリアを体の右横まで回します。



よくあるご質問

Q 体重が何 kg まで使えますか？

A 15kg です。

Q パッド入り肩ストラップのボタンの使いかたは？

A バックパネルを固定します。

Q バックパネルの使いかたは？

A お子さまが眠るときなど、お子さまの頭部をサポートする必要があるとき、フードを使用するときは、バックパネルを立ちあげ、ボタンを上にかけます。お子さまの頭部をサポートする必要があるとき、フードを使用しないときは、バックパネルを折りかえし、ボタンを下にかけます。前向き抱きでは、常にバックパネルを折りかえし、ボタンを下にかけます。

Q 抱いたときの腕の正しい位置は？

A お子さまの体の大きさや姿勢に応じて自然な位置から腕を出します。お子さまの体の大きさや姿勢により、腕が外に出ないときは、腕を出す必要はありません。前向き抱きでは、常にバックパネルの上または下から腕を出します。

Q 前向き抱きは、いつからできますか？

A 首が完全にすわり、月齢 5 か月以上、体重 6.4kg 以上、両膝がベビーキャリアから出ることが、前向き抱きの目安です（「成長に合わせた快適使い方ガイド」P.3）。お子さまが外の世界に興味を持つ様子が見られたら、前向き抱きをお試しください。前向き抱きは、5～10 分からお試しください。前向き抱きをしたとき、ボーっとしている、緊張している、ぐずっている、疲れているなど、お子さまが過剰に刺激を受けているようなときは、対面抱きでお子さまを休息させてください。

Q 前向き抱きのときの赤ちゃんの姿勢は他の抱きかたと違いますか？

A どの抱きかたでも自然に開脚をしたおすわり姿勢（エルゴノミック・ポジション）がとれるように設計されています。

Q 前向き抱きをすると疲れるのですか？

A どの抱きかたでも、お子さまの体重をバランスよく分散させる設計ですが、前向き抱きをするとご自分が肉体的負担を感じる場合は、前向き抱き以外の抱きかたをおすすめします。

Q おんぶは、いつからできますか？

A 首が完全にすわり、月齢 6 か月以上、体重 7.8kg 以上、両膝がベビーキャリアから出ることが、おんぶの目安です（「成長に合わせた快適使い方ガイド」P.3）。

各部のお手入れ

⚠ 警告

<点検・整備に関する注意事項>

- 有機溶剤、酸・アルカリ、熱湯等で洗浄しないでください。

製品が劣化し、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

⚠ 注意

<点検・整備に関する注意事項>

- 他の洗濯物と一緒に洗わないでください。色移りするおそれがあります。

- すべてのバックルと着脱テープを留め、洗濯ネットに入れます。



- 弱モード、冷水で、中性洗剤を用いて洗います。

(乾燥機を使用する場合は、低温、弱モードで使用してください。縫製部分が湿っている状態で乾燥機から取り出してください。)

- 洗濯機から取り出し、陰干しします。

※風合いを保つため、洗濯機の使用は控え目にしてください。

※汚れがひどい場合には、部分洗いをしてください。

※風合いを保つため、蛍光剤入り洗剤は使用しないでください。

※水質や洗剤により、本製品の色が落ちることがあります。

目立たない箇所を試してから洗濯をしてください。

※洗濯による色落ちは保証の対象外です。あらかじめご了承ください。

点検

⚠ 警告

<点検・整備に関する注意事項>

- 使用前に、本製品を点検・確認してください。
- ウエストストラップのバックル、肩ストラップのバックル、胸ストラップのバックルが確実に留められることを確認してから使用してください。
- 破損等がみられるバックルがある場合は、使用しないでください。

- 摩耗により、ウエストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップが使用中に自然に緩んでくるようになった場合は、使用しないでください。
- 異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。

使用中にバックルが外れる、生地が破れるなどして、すき間からおさまが落下するおそれがあります。

使用前に以下の項目を点検してください。

- バックルが破損していない。
- ウエストストラップのバックル、肩ストラップのバックル、胸ストラップのバックルが確実に留められる。
- ストラップや生地に破れ、ほつれ、キズがない。

保管と廃棄

警告

<保管に関する注意事項>

- お子さまの手の届く場所に保管しないでください。
- 高温多湿な環境をさせて保管してください。

カビが生えてお子さまの健康を害したり、製品が劣化して思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 屋外に放置したり、濡れたまま放置しないでください。
- 直射日光のあたる場所に保管しないでください。変色や劣化が早まります。

- 本製品は、直射日光、高温多湿な環境を避けて保管してください。
- 本製品は、お住まいの各自治体のきまりにしたがって廃棄してください。

修理を依頼する

警告

<点検・整備に関する注意事項>

- 改造や、不当な修理はしないでください。
- 修理は、日本正規総代理店 株式会社ダッドウェイにお問い合わせください。

修理の依頼、製品についてのご質問や、部品の購入などは、裏表紙に記載のお客さま相談窓口にお問い合わせください。ホームページ（www.ergobaby.jp）でもベビーキャリアの修理を受け付けています。

※以下の修理内容は有償でも承ることができません。

- 生地の張り替え
- ウエストバンド芯材の入れ替え
- 破けてしまった生地の補修
- 凹バックルが破損した場合の付け替え
- 胸ストラップ高さ調整用ランナー（レール）の付け替え
- ウェストストラップ、肩ストラップ、胸ストラップの付け替え

品質規定

*本規定はお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

対象

本規定は、エルゴベビー日本正規総代理店 株式会社ダッドウェイにより輸入された正規品に対して有効です。

保証期間

本製品をお客さまが購入店よりお買い上げいただいた日から起算して2年間を保証の対象期間とします。
保証を受けるためには購入の記録が必要になりますので、購入レシート、保証書は大切に保管してください。

保証内容

お客さまが INSTRUCTION MANUAL、ならびに本取扱説明書に準じて適正に使用、お手入れしていたにも関わらず、本製品に不良が発生した場合には、保証期間内において無償でのアフターサポートを行います。

修理・交換後の保証期間

修理・交換後の保証期間は、本製品をお買い上げいただいた日から起算して2年間の残りの保証期間とします。

保証の対象外

以下に該当する要件につきましては無償・有償を問わず保証の対象外となります。

- お客さまご自身、または、権限の無い第三者が、修理・改造を施した場合。(改造とは本製品の出荷時の仕様と異なった状態を指す)
- 本製品の自然劣化。
- 通常の使用、洗濯による本製品の色落ち。
- 自然劣化、洗濯、乾燥機による本製品の安全用ゴムループ、ストラップまとめゴム伸び。
- 誤ったお手入れ方法による部品の変形、機能不全。
- ご家族やご友人、知人などから使用済みの本製品を譲り受けた場合。
- 株式会社ダッドウェイにより輸入されていない並行輸入店などで本製品を購入した場合。
- 株式会社ダッドウェイにより輸入された信憑が無い場合。
- オークションなどで個人転売によって本製品を購入した場合。
- リサイクルショップなどで中古・新古の本製品を購入された場合。
- 本製品の紛失、盗難の場合。

有償保証となる場合

以下に該当する要件につきましては、無償の保証期間においても有償での対応となります。

- INSTRUCTION MANUAL、ならびに本取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた破損や不良。
- 地震、雷などの自然災害、および、お客さま、第三者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた破損や不良。
- 本製品の自然劣化や正常な使用において生じた消耗、不良。
- 本製品を正常に使用するにおいて問題がないと判断される箇所が生じた破損、消耗、不良。

修理・交換後の差異について

- 本製品の修理・交換に使用する部品は、当初の部品と異なるものとなる場合があります。
- 本製品の修理に必要な部品の在庫がなくなった後は、修理に対応できないことがあります。
- 本製品が製造中止となり交換品の在庫がなくなった後は、他の同等品で対応する場合があります。

保証の適用

- 本保証は日本国内でのみ有効です。
- 本製品の使用開始をもって、本保証規定に同意いただいたものとみなします。

使い方動画はYouTubeで!



ErgobabyJapan

検索

※同梱のINSTRUCTION MANUAL、
取扱説明書をお読みいただいてから、
動画をご覧ください。

DADWAY®

エルゴベビー 日本正規総代理店 株式会社ダッドウェイ

www.ergobaby.jp

お客さま相談窓口:0120-880188

受付時間:10:00-17:00(土・日・祝祭日を除く)

DW201505-PMEG01303



4 943169 067599